

「建学の精神」

1) 教育理念

人間の能力は生まれつきのものでなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。

2) 学園訓 <愛・信・敬>

一、他人を愛し 他人を信頼し 他人を尊敬する 人間に 私はなりたい

二、他人から愛され 他人から信頼され 他人から尊敬される 人間に 私はなりたい

3) 教育の目的

愛情と信頼と尊敬に充ちた教育を通じて、個性を伸ばし、能力を開発し、自立と向上心並びに互助協力の精神を培わせ、徳・体・智の調和のとれた人格の形成を図り、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人間を育成することを目指している。

<建学の精神に基づいた教育の具現化を実現し生徒、
保護者から選ばれる学校を目指す>

1) アドミッションポリシー（入学生受入方針）

本校の教育理念・学園訓に共感し、「学習意欲」の高い者で、課題の発見・解決に向け、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力があり、動物愛護精神が強く、動物業界の発展に寄与するために努力を惜しまず目標に向かって邁進できる者を受け入れる。

2) カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では教育方針に基づき動物業界に必要な心と技術・知識そしてビジネス能力を身につけることができる。それらの実現と実践的で専門的な能力を育成するため動物関連企業の要望やニーズを十分考慮し、教育課程編成においては、組織的に動物業界と連携し職業教育の改善、充実を図れるようカリキュラムを編成する。

3) ディプロマポリシー（進級・卒業認定、専門士授与に関する方針）

本校所定のカリキュラムを修了した者には卒業認定と同時に「専門士」と称することが認められる。また、「職業実践専門課程」修了者として動物業界の発展と公共の福祉の推進に寄与することができる「確かな知識や技術力」、さらに、「人間力」即ち、社会・対人関係力、自律力を身につけ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身につけていることとする。

京都動物専門学校

学 則

学校法人 南 京 都 学 園

京 都 動 物 専 門 学 校 学 則

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本校は教育基本法及び学校教育法に基づき商業の実務に関する専門知識及び技能を習得させ、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。

(名 称)

第 2 条 本校は京都動物専門学校という。

(位 置)

第 3 条 本校の位置を、京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町 6 番地に置く。

第 2 章 課程、学科、修業年限、定員及び休業日

(課程、学科、修業年限及び定員)

第 4 条 本校の課程、学科、修業年限及び定員は次のとおりとする。

課 程 名	学 科 名	コ ー ス 名	修 業 年 限	入 学 定 員	総 定 員
商業実務専門課程	ペットビジネス 学科	トリマー コース	2 年	8 0 名	1 6 0 名
		動物看護師 コース			

(学年及び学期)

第 5 条 本校の学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

2 学年を分けて、次の 2 学期とする。

前 期 4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

後 期 1 0 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

ただし、校長が相当と認めた場合は学期の開始日及び終了日を変更することができる。

(休業日)

第6条 本校の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

- (3) 夏季休業日
校長が別に定める
- (4) 冬季休業日
校長が別に定める
- (5) 春季休業日
校長が別に定める
- (6) 創立記念日
11月10日
- (7) 土曜日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があると校長がみとめた場合は、前項の規定にかかわらず、休業日に授業を行うことがある。

3 非常変災その他特別の事情があると校長が認めた場合は、臨時に休校することがある。

第3章 教育課程、授業時数、教職員組織及び成績評価

(教育課程及び授業時数)

第7条 本校の教育課程及び授業時数は別表第1のとおりとする。

- 2 授業時間（1単位授業時間）は45分とする。

(始業及び終業時間)

第8条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

9時から16時10分まで

(成績評価)

第9条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

(教職員組織)

第10条 本校に校長、教員、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

- 2 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第11条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者。
- (3) 文部科学大臣の定めるところにより高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

(入学時期)

第12条 本校の入学時期は、毎年4月1日とする。

(出願手続、入学手続、入学許可)

第13条 本校に入学しようとする者は、所定の入学願書その他必要な書類に、入学選考料を添えて願い出なければならない。

- 2 入学選考の結果、合格の通知を受けた者は、指定期日までに入学金等を納付しなければならない。
- 3 校長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(休学及び復学)

第14条 学生が疾病、その他やむを得ない事由によって、休学する場合は、所定の休学願に理由を明記し、診断書等を添付して、校長に願い出て許可を受けなければならない。

- 2 休学する者は、別表第2の在籍料を納めなければならない。
- 3 休学者が復学しようとする場合は、所定の復学願を提出し、校長の許可を受けなければならない。

(退学)

第15条 退学しようとする者は、所定の退学願を提出し、校長の許可を受けなければならない。

(卒業証書・称号の授与)

第16条 第9条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は、第4条第1項の課程を修了した者について、卒業を認定し、併せて文部科学大臣告示（平成6年文部省告示第84号）により専門士（商業実務専門課程）と称することを認め、第1号様式による卒業証書を授与する。

(ほう賞)

第17条 校長は、成績優秀にして他の模範となる者をほう賞することができる。

(懲 戒)

第18条 校長は、本学則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者を、懲戒することができる。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者

(2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められた者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 本校の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第5章 入学金及び授業料等

(入学金及び授業料等)

第19条 選考料、入学金及び授業料等は別表第2のとおりとし、これを所定の期日までに納付しなければならない。

2 授業料等は前期及び後期に分けて納めることができる。

3 授業料等未納者には退学を命ずることができる。

4 入学年度の前年度の3月31日までに入学辞退の意思表示をした者については、入学手続き時に納付した入学金及び授業料のうち、入学金を除きこれを返還する。

ただし、専願にて推薦入試に合格し、入学手続きを行った場合は原則として、一切返還しない。

第6章 附帯教育事業

第20条 附帯教育事業として、次のとおり別科を設置する。

講座名	修業期間	総定員	備考
動物看護師受験対策	10ヶ月	40名	夜又は休日
高校生対象講座	1ヶ年	40名	平日・休日

2. 別科の受講料金は、別表2のとおりとする。

第7章 雑 則

(健康診断)

第21条 健康診断は毎年1回、別に定めるところにより実施する。

(細 則)

第22条 この学則の施行に必要な細則は、校長が別に定める。

附 則

1. この学則は平成9年4月1日から施行する。
2. ① この学則は平成11年4月1日から施行する。ただし、第16条第1項の規定は、平成11年3月1日から施行する。
② 第4条第1項の規定にかかわらず、平成11年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。
3. この学則は平成13年4月1日から施行する。
4. この学則は平成14年4月1日から施行する。
5. この学則は平成15年4月1日から施行する。
6. この学則は平成15年4月1日から施行する。ただし、第4条第1項及び第16条第1項の規定にかかわらず、平成15年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。
7. この学則は平成16年4月1日から施行する。
8. この学則は平成17年3月10日から施行する。
9. この学則は平成18年4月1日から施行する。ただし、平成18年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。
10. この学則は平成19年4月1日から施行する。
11. この学則は平成20年4月1日から施行する。
12. この学則は平成21年4月1日から施行する。
13. この学則は平成23年4月1日から施行する。
14. この学則は平成26年4月1日から施行する。
15. この学則は平成27年4月1日から施行する。
16. この学則は平成29年4月1日から施行する。
17. この学則は平成31年4月1日から施行する。

第1号様式

	第 号
卒 業 証 書	
校印	
氏 名	
年 月 日生	
<p>上の者は本校二年制の職業実践専門課程 (平成二十五年文部科学省告示第百三十三号) 商業実務専門課程ペットビジネス学科の 所定の課程を修めたので卒業証書を授与し、 文部科学大臣告示(平成六年文部省告示第八十四号) により、専門士(商業実務専門課程)と称すること を認める。</p>	
年 月 日	
学校法人南京都学園 京都動物専門学校 校長	
	印

別表第1-2

教育課程及び授業時間数

商業実務専門課程		ペットビジネス学科 トリマーコース		この教育課程は、平成31年度の1年生から適用する。					
科目 区分	区分	授業科目		年授業時数					
				1年次	2年次				
専門分野科目	基礎	犬	学	講義	30				
		犬	種	学	講義	30			
		動物	医	療	学	講義	30		
		動物	公衆衛生学	I	講義	30			
		動物	公衆衛生学	II	講義		30		
		ドッグ	トレーニング	演習	演習	30			
		動物	飼養管理	学	講義	60			
		グルー	ミング	概論	講義	60			
		動物	介在・共生	論	講義	60			
		動物	愛護・福祉	論	講義		30		
		動物	栄養	学	講義		30		
		動物	生理	学	講義		30		
		動物		学	講義		30		
	専攻	[メディカル トリマー]	動物	臨床栄養	学	講義	60		
			動物	医療コミュニケーション		講義	30		
			猫		学	講義	60		
			動物	福祉・倫理		講義	30		
			ペット	ファーストエイド		講義		15	
	専攻	[ショップ スタッフ]	エキゾチック	アニマル		講義	60		
			動物	保護	論	講義	60		
猫				学	講義	60			
動物			健康管理	学	講義		60		
技術専門 分野科目	[トリマー]	グルー	ミング	実習	III	実習		240	
		基礎	グルー	ミング	実習	I	実習	480	
			グルー	ミング	実習	II	実習		480
ビジネス 分野科目	基礎	ペット	ビジネス	学	講義	60			
		インター	シッ	プ	I	講義	30		
		インター	シッ	プ	II	講義		30	
		コン	ピュー	タ	実習	I	実習	60	
		コン	ピュー	タ	実習	II	実習		60
		ビジ	スマ	ナー	一般常識	講義		30	
		シ	ョ	ッ	プ	会	計	講義	

基礎	科目	授業	時数	960	810
専攻	科目	授業	時数	0	675
合計	授業	時数	960	1485	
総	授業	時数	2445		
卒業に必要	な総	授業	時数	1800	

各専攻時の総授業 時数	メディカルトリマー専攻	960	1005
		----- 1965	
	トリマー専攻/ショップスタッフ専攻	960	1050
		----- 2010	

1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。

※2年次に〔メディカルトリマー専攻〕・〔ショップスタッフ専攻〕・〔トリマー専攻〕のいずれかを履修すること。

別表第1-4

教育課程及び授業時間数

商業実務専門課程 ペットビジネス学科 動物看護師コース この教育課程は、平成31年度の1年生から適用する。					
分野 区分	科目 区分	授業科目		年授業時数	
				1年次	2年次
専門分野	基礎動物看護学	動物形態機能学	講義	120	
		動物繁殖学	講義		30
		動物病理学	講義		30
		動物薬理学	講義		60
		動物感染症学Ⅰ	講義	60	
		動物感染症学Ⅱ	講義		30
	応用動物看護学	動物看護学概論	講義	60	
		動物医療関連法規	講義		30
		公衆衛生学	講義		60
		人間動物関係学	講義		30
		動物福祉・倫理	講義	30	
		動物行動学	講義		30
		伴侶動物学Ⅰ	講義	30	
		伴侶動物学Ⅱ	講義		30
		産業動物・実験動物学	講義		60
		野生動物学	講義		30
	臨床動物看護学	動物内科看護学	講義	30	
		動物外科看護学Ⅰ	講義	30	
		動物外科看護学Ⅱ	講義		30
		動物臨床看護学・総論	講義	30	
		動物臨床看護学・各論	講義		120
		動物臨床栄養学	講義	60	
		動物臨床検査学Ⅰ	講義	30	
		動物臨床検査学Ⅱ	講義		30
	動物医療コミュニケーション	講義	30		
	実習科目	動物形態機能学実習Ⅰ	実習	30	
		動物形態機能学実習Ⅱ	実習		15
		動物内科看護学実習	実習	90	
		動物臨床検査学実習	実習	90	
		動物外科看護学実習	実習		90
動物臨床看護学実習		実習		60	
インターンシップⅠ		実習	90		
インターンシップⅡ	実習		90		
アドバンス分野	専門科目	猫学	講義	60	
		認定動物看護師の理解	講義		60
		ペット・ファーストエイド	講義		15
		ペット保険講座	講義	15	
		校外総合学習Ⅰ	実習	15	
		校外総合学習Ⅱ	実習		15
		ペットアドバイザー演習	演習	30	
		グループミニング実習	実習	240	
	ビジネス科目	ビジネススキルⅠ	講義		30
		ビジネススキルⅡ	講義		30
		コミュニケーション技法基礎	講義		30
		コミュニケーション技法応用	講義		30
		コンピュータ実習	実習	60	
		合計授業時数		1230	1065
		総授業時数		2295	
卒業に必要な総授業時数		1800			

1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。

認定動物看護師試験の受験資格は、2295時間を履修することを要件とする。

別表第2

1. 専門課程 全学科共通

この表は平成23年度の1年生から適用する。

入学選考料	20,000円	受験時のみ
入学金	100,000円	入学時に納付
授業料 (年間)	700,000円	毎年
施設運営費 (年間)	150,000円	毎年
実習費 (年間)	200,000円	毎年

2. 休学者の在籍料

休学者の在籍料	100,000円	通年
	50,000円	前期・後期

3. 別科受講料

動物看護師受験講座	60,000円	1回の講義90分(30回程度)
高校生対象講座 (1教科)	32,000円	1回の講義90分(8回程度)

令和2年度 学生便覧



京都動物専門学校

学園教育理念

人間の能力は生まれつきのものではなく、

その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。

学園訓

一、他人を愛し 他人を信頼し 他人を尊敬する 人間に私になりたい

一、他人から愛され 他人から信頼され 他人から尊敬される

人間に私になりたい

学園の教育の目的

愛情と信頼と尊敬に充ちた教育を通じて、個性を伸ばし、能力を開発し、自立と向上心ならびに互助協力の精神を培わせ、徳・体・智の調和のとれた人格の形成を図り、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人間を育成することを目指している。

本校の教育綱領

SKILL&LOVE「確かな技術と人や動物に対する愛情」を合言葉に動物系とビジネス系の二本柱を教育の中心に置き、これからの動物業界の未来を担う、人材の育成を目指している。

今までに無い、新しい動物系の学校としてのあり方を常に創造し挑戦していく。

目 次

第1章 学籍

第1条：【学籍の得喪】	1
第2条：【在籍期間】	1
第3条：【休学】	1
第4条：【退学】	1
第5条：【復学・再入学】	1
第6条：【学費納入】	1

第2章 学習要項

第7条：【授業】	2
第8条：【保健業務】	3
第9条：【公欠】	3
第10条：【出校停止】	3
第11条：【忌引】	3
第12条：【試験】	3
第13条：【評価】	4

第3章 学生生活

第14条：【学生生活に関する留意事項】	5
第15条：【クラス担任制度】	5

第4章 通学証明書・学割証の交付

第16条：【通学証明書】	6
第17条：【学生証】	6
第18条：【通学定期券、学割証使用の留意点】	6
第19条：【各種証明書】	6

シラバス

第1章 学 籍

第1条【学籍の得喪】

学籍は認証によって取得し、卒業、退学などによって喪失する。

第2条【在籍期間】

在籍期間は4年を超えることはできない。ただし、休学期間はこれに含めない。

第3条【休学】

- (1) 病気その他やむを得ない事由で長期にわたり欠席する場合には、休学願を保護者から提出し、校長の許可を得て休学することができる。原則として、休学は当該学期の授業料納付期限日までに願い出ることとし、当該年度末までの期間の許可を受けることができる。休学期間中は、学費を徴収しない。ただし、学則第14条第2項に定める在籍料を納めなければならない。
- (2) 休学の期間は、2年を超えないものとする。ただし、やむを得ない理由があると校長が認めた場合は、期間を延長することができる。

第4条【退学】

- (1) 担任・校長の指導のもと、退学する場合は学生証を添えて、退学願を提出する。
- (2) 下記の場合は退学を命ずることがある。
 1. 無届の欠席が3ヶ月におよぶ場合。
 2. 本校生徒としてふさわしくない言動があった場合。
 3. 理由なくして学費の滞納が3ヶ月におよび再度にわたる警告を無視した場合。

第5条【復学・再入学】

- (1) 校長が認めた場合、一旦休学又は退学した者の復学・再入学を許可する。復学・再入学の時期は、原則として各学期の初日とする。この場合、本校在学期間中に修得した科目については教務部が判定し、校長が認定する。
- (2) 復学・再入学が認められた者は、その期の学費を支払わなければならない。ただし、再入学者は、入学金も支払わなければならない。

第6条【学費納入】

- (1) 学費の納入は必ず所定額を指定日までに納入すること。指定日までに学費が完納されない時、校長は出校停止を命ずることができる。
- (2) 原則として、既納の学費は返還しない。
- (3) 入学年度の前年度の3月31日までに入学辞退の意思表示をした者については、学則第19条第4項を適用する。

第2章 学習要項

第7条【授業】

(1) 学 期

本校における授業は通常、前期・後期に分かれ、その期間は下記の通りとする。

前期 4月1日 ～ 9月30日

後期 10月1日 ～ 3月31日

(ただし、校長が認めた場合は両期の開始日及び終了日は変更することもある。)

(2) 時 限

授業時間を時限と呼び、1時限は90分で次の通りとする。

1時限 9:00～10:30

2時限 10:40～12:10

3時限 13:00～14:30

4時限 14:40～16:10

(3) 休 講

休講となる場合は、掲示により連絡する。

(4) 補 講

授業が休講となった場合は、授業時間とは別に日時を定めて補講を行うことがある。

日時・教室などは掲示により連絡する。

(5) 災害時等における授業の取扱い

1. 京都市において警報等が発令された場合

ア. 午前6時00分現在で、「特別警報」「大雨警報」「洪水警報」「暴風警報」のいずれかが発令中の場合、生徒は自宅待機とする。(臨時休講)

イ. 午前10時00分現在解除されていれば3限目から授業を行う。ただ

し、実習授業においては、休講となる場合がある。詳細はホームページ等に掲載する。

2. 定期試験中について前項1.の警報が発令された場合、臨時休校（終日）とし当該試験に関しては別途掲示により指示する。
3. 登校後(授業中)に発令された場合、又は、危険が迫っている場合は、学校長の判断で授業等を中断し、下校もしくは学校待機を指示する。また、特別警報が発令された場合等、下校させず学校待機を命じることがある。
4. 上記1.の地域以外(生徒の居住地)で「特別警報」「大雨警報」「洪水警報」「暴風警報」のいずれかが発令された場合、もしくは、特に危険な状況であると判断した場合には、該当する生徒は、その旨を学校(担任等)に連絡の上、自宅待機(公欠扱い)とする。解除された場合は、十分に安全を確認の上、登校してもよい。

(6) 授業の出席

1. 履修している授業科目の認定を受けるためには、欠課時数とその授業時間数の3分の1を超えてはならない。超えた場合は不認定となる。その科目の認定を受けることができない。
2. 警告
極めて欠課時数が多い生徒に対し、その都度、保護者あてに警告文を送る。
3. 通達
欠課時数とその授業時間数の3分の1を超えた場合は、生徒及び保護者に対してその旨を通達する。

(7) 授業の欠席

授業中に理由無く退出した生徒は欠課扱いとする。

(8) 授業の遅刻、早退

授業開始から15分までを遅刻扱いとし、15分以上の場合は欠課扱いとする。

原則として早退は認めない

第8条【保健業務】

生徒各自が健康に十分留意し、充実した学生生活を過ごせるように、本校では、毎年全生徒を対象に定期健康診断を実施する。

第9条【公欠】

下記に掲げる事由により、やむを得ず授業を受講できない場合には「公欠」を認める。公欠の扱いを受けようとする者は、原則として前日までに、公欠願に必要事項を記入し、事務所へ提出すること。

1. 就職試験、会社訪問などの場合
2. その他、校長が特に必要と認めた場合

第10条【出校停止】

感染症に指定されている病気などに感染した生徒は出校停止とする。完治後、遅滞なく医者診断書等を学校に提出しなければならない。

第11条【忌引】

下記のように忌引を認める。ただし、保護者又はこれに代わる者による書面を担任に提出することを求めることがある。

- 父母、配偶者＝5日以内
- 祖父母、兄弟姉妹＝3日以内
- 叔父叔母、甥、姪＝1日以内

第12条【試験】

本校の試験は通常、平常試験と定期試験に分かれ、各試験について本条（3）を適用する。

（1）平常試験

担当教員が授業時間内に行う試験で、この試験にはレポート・課題提出なども含まれる。レポート・課題提出等は平常試験として扱われるので、必ず担当教員に提出すること。

（2）定期試験

前期・後期の授業終了時に本校が指定する期間に行う試験のことで、定期試験の代わりに課題などを提出させる場合もある。結果（再試験・追試験）については、定期試験終了後、掲示により発表する。

（3）試験受験上の注意

1. 学費を納入していない者は受験することができない。

2. 指定された試験場で受験しなければならない。
3. 遅刻した者の受験は、試験開始より15分以内に限り認め、それ以後は認めない。
4. 試験場では試験監督の指示に従わなければならない。
5. 不正行為があった場合は職員会議において審議し処分を決定する。
 - ア) 不正のあった科目を含め、それ以前に受けた当該期の試験は全て0点とする。
 - イ) ア) の場合、基本的には再試験を受けることができる。
 - ウ) 但し、学則第18条により、懲戒処分とする。懲戒の中身については、担任及び当該試験担当教員の報告を参考に校長が判断する。

(4) 追試験

下記の6項目の事由で定期試験を受験できなかった生徒を対象として追試験を行う。

なお、評価については定期試験と同じ基準とし、結果については掲示にて発表する。

1. 天災
2. 交通事故
3. 病気
4. 就職試験・会社訪問
5. 忌引・その他やむを得ない事由
6. 校長が特別に認めた事由

(5) 再試験

定期試験（課題なども含む）において履修科目が合格点に達しなかった者に対し、本校が指定する日に行う試験（課題などの再提出も含む）で、結果は掲示により発表する。

1. 受験申請

所定の再試験受験願に、1科目につき3,000円の受験料を添えて試験前日の17時までに事務所で手続きをし、受験票を試験当日必ず持参すること。忘れた場合は、事務所にてすぐに再発行を行うこと。

2. 試験の遅刻

遅刻した者の受験は、一切認めない。

3. 成績評価

試験に合格すれば、可の評価とする。

第13条【評価】

(1) 総合評価の基準

総合評価は、100点満点で評価され、50点以上を合格とし、49点以下を不合格とする。

(2) 総合評価

評価方法は、以下の内容で評価される。

1. 定期試験
2. 課題
3. 技術・技能評価
4. 学習・実習態度

(3) 成績の通知

成績不可の生徒に対しては掲示により通知する。

(4) 進級判定

1年次の生徒が2年次へ進級する際の進級判定は進級判定会議で行う。

(5) 卒業認定

2年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。

(6) 総合判定の表記

履修した科目については、下記の4段階で評価する。

なお、成績証明はこの総合判定の表記とする。

100～80	優
79～65	良
64～50	可
49以下	不可

(7) 補充講義

不認定（再試験の結果不合格など）の科目は、判定会議で認められれば、下記の要領で補充講義の受講または課題を提出することができる。これにより認定されることもある。

1. 補充講義の日時は、掲示により発表する。
2. 補充講義の受講または課題提出によって認定されれば可の評価を受ける。
3. 補充講義・課題はそれぞれの提出願に記入し、事務所へ下記の金額を添えて定められた期間に手続きすること。

補充講義・・・1科目につき5,000円

課題・・・1科目につき1,000円

(8) 不認定科目について

1年次、必修の不認定科目の総時数が120時数以下であれば2年次再履修、121時数以上であれば3年次再履修となる。3年次再履修の生徒であっても、120時数以下までの不認定科目については、2年次に再履修することができる。

また、平成31年度の1年生からは、1年次900時数以上の履修を進級要件とし、2年間で1,800時数以上を履修することを卒業要件とする。

但し、集中講義で履修する場合は、15時数あたり1万円が必要となる。

2年次における必修の不認定科目については、15時数あたり1万円が必要となり翌年再履修とする。

なお、再履修願を事務所へ提出すること。

(9) GPA制度について

自律的学修の促進および学修指導等に活用、また成績の把握を目的とし、GPA（Grade point Average）を実施する。

各生徒の履修登録科目の成績評価をグレード・ポイント（GP）に変換し、その総和を履修科目数の総和で除した値をGPAとする。

成績の評価とG P 対応

成績の評価		G P
素点	評語 (成績表示)	(グレード・ポイント)
100～80	優	3.0
79～65	良	2.0
64～50	可	1.0
49以下	不可	0

G P A 算出方法

$$G P A = \frac{\text{当該期間において履修登録した科目のG Pの総和}}{\text{当該期間において履修登録した科目数の総和}}$$

注) G P A 算出においては、不可科目および学期途中の履修中止科目も含む。

第3章 学生生活

第14条【学生生活に関する留意事項】

1. 登下校の際には交通道德を守り、特に車内においてはマナーを守り本校の生徒として節度ある行動をとること。
2. 自動車での通学は禁止する。ただし、バイク又は自転車通学希望者は本校指定の誓約書及び自賠責保険証書のコピーを提出すること。
3. 校内での飲食は定められた場所で行うこと。
4. 学生証を常に携帯すること。
5. 住所を変更した場合は、所定の用紙に記入して速やかに事務所に届けなければならない。
6. 本校は二足制であり、校内では上履きを履くこと。
7. 本校は全面禁煙である。

第15条【クラス担任制度】

本校では連絡ならびに生活指導などの徹底をはかるためにクラス担任制度を導入している。

第4章 通学証明書・学割証の交付

第16条【通学証明書】

1. 入学時、通学証明書発行台帳提出後、学生証の裏面に交通機関・通学区間などの証明を受ける。
2. 定期券の購入は必要とする交通機関の窓口で「購入申込書」に記入し、学生証と一緒に提出し購入すること。

第17条【学割証】

1. 本人以外の使用を禁じる。
2. 乗車の際、必ず「学生証」を携帯すること。

第18条【通学定期券・学生証使用の留意点】

1. 生徒には割引の特典がある。それだけに充分注意して不正使用しないこと。
2. 他人への貸与は禁止する。
3. 学生証を紛失した場合は、すぐに事務所へ届けること。
4. 学生証は常時携帯し、何時でも提示できるようにすること。
5. 万一不正使用した場合は、本人に対して相当の追徴金を課せられるだけでなく学校全体に対して割引の特典が取り消されることになる。この場合、保護者または、それに代わる者が金額支払いの責任をとることになっているので特に留意すること。

第19条【各種証明書】

下記の証明書を必要とする場合は「証明書交付願」に記入して手数料を添えて願ひ出ること。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. 在学証明書・卒業証明書・成績証明書・卒業見込証明書等 | = 300円/通 |
| 2. 学生証再発行 | = 500円/通 |
| 3. その他 証明書 | = 300円/通 |

附則

1. この学生便覧は平成9年4月1日から施行する。
2. この学生便覧は平成21年4月1日から施行する。
3. この学生便覧は平成23年4月1日から施行する。
4. この学生便覧は平成26年4月1日から施行する。
5. この学生便覧は平成27年4月1日から施行する。
6. この学生便覧は平成28年4月1日から施行する。
7. この学生便覧は平成30年4月1日から施行する。
8. この学生便覧は平成31年4月1日から施行する。

令和2年度 シラバス



シラバス 目次

【1年 トリマーコース】 ●実務経験のある教員による授業科目 (960)

●犬学 (30)	1
●犬種学 (30)	2
●動物医療学 (30)	3
●動物公衆衛生学 I (30)	4
●ドッグトレーニング演習 (30)	5
●動物飼養管理学 (60)	6
●グルーミング概論 (60)	7
●動物介在・共生論 (60)	8
●グルーミング実習 I (480)	9
●ペットビジネス学 (60)	10
●インターンシップ I (30)	11
コンピュータ実習 I (60)	12

【2年 トリマーコース】 ●実務経験のある教員による授業科目 (1,305)

●動物公衆衛生学 II (30)	13
●動物愛護・福祉論 (30)	14
●動物栄養学 (30)	15
●動物生理学 (30)	16
●動物学 (30)	17
●動物臨床栄養学 (60)	18
●動物医療コミュニケーション (30)	19
●猫学 (60)	20
●動物福祉・倫理 (30)	21
●ペットファーストエイド (15)	22
●エキゾチックアニマル (60)	23
●動物保護論 (60)	24
●動物健康管理学 (60)	25
●グルーミング実習 II (480)	26
●グルーミング実習 III (240)	27
●インターンシップ II (30)	28
コンピュータ実習 II (60)	29
●ビジネスマナー・一般常識 (30)	30
ショップ会計 (60)	31

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
犬学	基礎	1	前期	吉田 浩和	・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

犬という動物を正しく理解する。

トリマーとして感情ではなく、学術的に犬という動物について考え理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬について考える	自己紹介、犬に対する自身の思いと考え
2	犬について考える	観察、接し方
3	犬について考える	歴史、進化
4	犬について考える	行動の発達
5	犬について考える	行動特性
6	犬について考える	行動特性
7	犬について考える	観察(モデル犬)
8	犬について考える	暮らし方
9	学習理論	馴化・鋭敏化
10	学習理論	馴化・鋭敏化
11	学習理論	古典的条件づけ
12	学習理論	オペラント条件付け
13	ボディランゲージ	反応形成、実技(モデル犬)
14	ボディランゲージ まとめ	実技
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで順序及びドッグトレーニング演習と入れ替わることがある
- ・試験結果、授業態度、出席日数等の総合評価とする

教科書

プリント配布

参考文献

ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル／緑書房
動物看護コアテキスト4／ファームプレス
Dog Owners Handbook／interzoo

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
犬種学	基礎	1	前期	檜原 伸哉	認定動物看護師

講義の目的および概要

犬に関する深い知識の習得とスタンダードを理解することによって、犬とグルーミングの本質を理解することを目的とする。

また、犬という動物への理解の深まりは、様々な分野においても役立ち、特に犬に携わる人間（職業人）にとっては重要であることを理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬種学とは	犬及び犬種ごとの理解が、なぜ必要かを理解する。
2	犬の体の構成	犬の骨格・体・歯の名称や働き、特徴などを理解する。
3	犬種グループについて	「何によって」犬種がグループ分けされているのかを理解する。
4	第4グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
5 ～ 6	第1グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
7	第2グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
8	第5グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
9	第7グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
10	第8グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
11 ～ 12	第9グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
13	第9・10グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
14	第3グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
15	試験	

学習上の留意点と評価方法

一般に飼われることの多い犬種を重点的に学習し、犬に対する理解を深める。

試験は筆記試験を実施。

小テスト、試験、授業態度、欠課・遅刻日数、提出物などにより総合的評価を実施。

教科書

最新犬種図鑑／インターズー

参考文献

イラストで見る犬学／講談社

トリマーのためのベーシック・テクニック／緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療学	基礎	1	前期	吉田 龍一郎	獣医師

講義の目的および概要

犬についての基本的な知識はトリマーには不可欠なものであるので、犬の体の構造や機能について学び理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物医療学	概要と授業計画
2	生体を構成する要素	名称と役割
3	外形と外皮	その構造と役割
4	骨格	名称と特徴
5	筋肉	構造と役割
6	消化器系	構造と役割
7	呼吸器系	構造と役割
8	血液学	種類と役割
9	泌尿器系	位置と名称
10	泌尿器系	役割と尿生成の方法
11	循環器系	位置と名称
12	循環器系	役割
13	内分泌系と神経系	作用機序
14	まとめ	まとめと試験対策
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

イラストで見る犬学／講談社

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物公衆衛生学 I	基礎	1	後期	吉田 龍一郎	獣医師

講義の目的および概要

感染症についての基礎知識を身につけるとともに、その原因となる病原微生物についても学習する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	公衆衛生学	概要と授業計画
2	公衆衛生学	疫学の定義と役割
3	感染症学	感染と発症の違い
4	感染症学	感染症の種類
5	感染症学	感染が成り立つための条件
6	感染症学	感染防御機能とは
7	感染症学	感染の予防と防疫
8	微生物学	微生物についての基礎知識
9	微生物学	病原微生物とは
10	微生物学	細菌の特徴と病原性
11	微生物学	細菌の分類
12	微生物学	真菌と原虫について
13	微生物学	ウイルスの特性と病原性
14	まとめ	まとめと試験対策
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

参考文献

動物看護のための小動物衛生学／ファームプレス

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ドッグトレーニング演習	基礎	1	後期	吉田 浩和	・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

トリマーとして実際に犬が変わり覚えていくことを実践する。
実践の経験の中で適切なアドバイスができるようになる。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	トレーニングについて	トレーニングの目的、方法について
2	接し方について	犬との接し方について
3	犬に教える	基本コマンド
4	犬に教える	基本コマンド
5	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
6	犬に教える	基本コマンド
7	犬に教える	基本コマンド
8	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
9	犬に教える	犬と遊ぶ
10	犬に教える	犬と遊ぶ
11	犬に教える	実技(モデル犬)
12	犬に教える	実技(モデル犬飼い主同伴)
13	問題行動	問題行動の修正①
14	問題行動	問題行動の修正②、復習
15	実技テスト	※補講日に開催

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで順序及び犬学と入れ替わることがある
- ・授業態度、出席日数、実技結果等を総合評価とする

教科書

プリント配布

参考文献

ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル／緑書房
動物看護コアテキスト4／ファームプレス
Dog Owners Handbook／interzoo

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物飼養管理学	基礎	1	前期	芦谷 美留	ドッグトレーナー

講義の目的および概要

愛玩動物飼養管理士2級内容を理解し、試験合格を目指すための授業です。愛玩動物飼養管理士が対応する動物全般に対する知識や必要な法律に関する知識について学びます。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	愛玩動物飼養管理士試験と授業について
2	飼養管理について	動物の飼養管理とは
3	犬の飼養	犬の生理や飼養について
4	犬の飼養	犬の生理や飼養について
5	犬の飼養	犬の生理や飼養について
6	犬の飼養	犬の生理や飼養について
7	犬の飼養	犬の生理や飼養について
8	猫の飼養	猫の生理や飼養について
9	猫の飼養	猫の生理や飼養について
10	その他の動物	その他の動物の生理や飼養について
11	その他の動物	その他の動物の生理や飼養について
12	鳥類の飼養	鳥類の生理や飼養について
13	動物の学習理論	学習理論としつけ
14	動物の学習理論	学習理論としつけ
15	予備日	
16	予備日	
17	動物愛護	動物愛護の歴史
18	動物愛護	使役犬とアニマルセラピー
19	動物関連法案	動物関連法案について
20	動物関連法案	動物関連法案について
21	動物関連法案	動物関連法案について
22	生理学	身体づくりについて
23	生理学	身体づくりについて
24	試験対策	愛玩動物飼養管理士試験についての対策
25	試験対策	愛玩動物飼養管理士試験についての対策
26	試験対策	愛玩動物飼養管理士試験についての対策
27	試験対策	愛玩動物飼養管理士試験についての対策
28	予備日	
29	予備日	
30	試験	

学習上の留意点と評価方法

毎回授業で解説した範囲の小テストを行い、評価に含めます。

教科書

愛玩動物飼養管理士2級教本

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング概論	基礎	1	通年	常石 誠	トリマー

講義の目的および概要

トリミングの知識を濃密にし、トリミングへの向上意識を高める。
 犬種別のトリミング手順やイラストを学ぶことで、
カットスタイルを覚えて実習をスムーズに行えるようにする。

授業計画

4コマ/回

回	主 題	授 業 内 容
1 2	グルーミングとは	グルーミングについて、グルーミングの目的・大切さ シャンプーセットの手順
3	扱う道具について	道具の名称・使い方・注意点 <u>犬の扱いについて</u>
4 5	各作業について	グルーミングの手順
6 ～8	シーザー、マルチーズ	シーザー、マルチーズ、ベアカットのトリミング手順
9 10	ヨークシャーテリア、ポメラニアン	ヨークシャーテリア、ポメラニアンのトリミング手順
11 12	トイ・プードル	プードルのトリミング手順
13 14	ケネル&ラムクリップ	ケネル&ラムクリップ (クリッピング)
15	試験	前期試験
16	復習	試験 答え合わせ
17	ケネル&ラムクリップ	ケネル&ラムクリップ (カッティング)
18 19	プードルのペットクリップ	ペットコンチネンタルクリップ、マイアミクリップ
20 ～ 22	ミニチュア・シュナウザー	ミニチュア・シュナウザーのトリミング手順
23	ワイアー・フォックス・テリア	ワイアー・フォックス・テリアのトリミング手順
24	スコティッシュ・テリア	スコティッシュ・テリアのトリミング手順
25	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアのトリミング手順
26	アメリカン・コッカー・スパニエル	アメリカン・コッカー・スパニエルのトリミング手順
27	イングリッシュ・コッカー・スパニエル	イングリッシュ・コッカー・スパニエルのトリミング手順
28 29	猫	猫について
30	試験	後期試験

* 随時イラスト練習を行う。

学習上の留意点と評価方法

前期試験・後期試験は筆記試験を行う。
 試験結果、授業態度、欠課日数、提出物などにより総合的に評価する。
 授業態度、欠課・遅刻回数の評価は重視する。

教科書

プリント配布

参考文献

ハッピー*トリマー編集部 (編) / 緑書房

科目名	区分	年	期別	担当者名	実務経歴
動物介在・共生論	基礎	1	前期	芦谷 美留	ドッグトレーナー

講義の目的および概要

犬や猫は、「家族の一員」へと変化してきています。動物が人間社会で果たす役割と上手に人間社会と共生していくための知識や方法を一緒に考えていきましょう。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	授業概要や進め方について
2	現代社会とペット文化	現代社会で起きるペットトラブルについて
3	現代社会とペット文化	現代社会で起きるペットトラブルについて
4	現代社会とペット文化	自主研究と発表
5	現代社会とペット文化	自主研究と発表
6	予備日	
7	問題行動とその対処	犬の問題行動についてとその対処方法
8	問題行動とその対処	犬の問題行動についてとその対処方法
9	問題行動とその対処	自主研究と発表
10	問題行動とその対処	自主研究と発表
11	予備日	
12	ペットと災害	災害が起きたときのペットの現状
13	ペットと災害	ペットの災害対策
14	ペットと災害	動物関連事業と災害対策
15	前期まとめ	
16	前期まとめ	
17	動物関連法規	現在の動物関連法律とその問題点 1
18	動物関連法規	現在の動物関連法律とその問題点 2
19	動物関連法規	現在の動物関連法律とその問題点 3
20	予備日	
21	動物介在療法と教育	動物介在療法・動物介在教育について
22	動物介在療法と教育	動物介在療法・動物介在教育について
23	動物介在療法と教育	自主研究と発表
24	動物介在療法と教育	自主研究と発表
25	予備日	
26	動物愛護	動物愛護と動物虐待について
27	動物愛護	動物愛護と動物虐待について
28	後期まとめ	
29	予備日	
30	試験	

学習上の留意点と評価方法

授業の出席率と、授業への積極的な参加姿勢を評価対象とします。

教科書

『現代社会と家庭動物』動物愛護推進員をめざすための公式テキストブック

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習 I	基礎	1	通年	常石誠・加来博子 西堀有紀・高橋由美子	トリマー (4名)

講義の目的および概要

基本的なグルーミング知識・技術の習得はもちろん、トリミング向上に最も重要な要素となる犬の扱い、トリマーとしての犬との関係・接し方とはどのようなものか、トリマーとしての心構えといった、今後の向上に必要な基礎、土台を育成する。また、スタッフルームでの飼い主とのコミュニケーションや接客を通して、トリマー・犬・飼い主との関係の重要性を学ばせる。
N A V A 認定トリマーライセンス 3 級取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1 ～ 3	道具の正しい使い方や 実習の流れを理解	トリマーの心得、道具の確認、各道具の使い方トリミング作業手順、犬種省略記号、リボン製作と付け方、実習ノート・報告書の書き方、カルテの見方・記入の仕方、実習に入る前の注意点、スタッフルームの目的・内容、預かり書・注文書、実習室・犬舎室の使い方、掃除当番の目的と内容、ブラッシング練習、シザー練習
5 ～ 12	シャンプーセットの理解	各道具の正しい使い方、犬の扱い、保定、シャンプーセットの手順の理解 大型犬一頭 2～4人 中・小型犬一頭 1～2人
13	ペットクリップを学ぶ	シーザー、マルチーズ、プードル（ベアカット）などのペットクリップのデモンストレーション
14 ～ 22	シャンプーセットの習得と ペットクリップの理解	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの理解 大型犬一頭 2～3人 中・小型犬一頭 1～2人
23 ～ 30	シャンプーセットの完成度を高め ペットクリップの深い理解と習得	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの理解と習得 時間短縮（スピードアップ）の習得 大型犬一頭 2～3人 中・小型犬一頭 1人
31 ～ 60	N A V A 認定トリマーライセンス 3 級取得を目指す	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの習得 時間短縮（スピードアップ）の習得 中・大型犬一頭 2～3人 小型犬 多頭 1人

学習上の留意点と評価方法

犬の扱い、道具の正しい使い方、カット手順などが間違っていないか確認し、怪我に十分に配慮する。
授業の中でテスト形式にて行う。授業態度、テスト形式の点数、欠課回数などにより評価する。
授業態度、欠課・遅刻回数の評価は重視する。

教科書

参考文献

ハッピートリマー編集部（編）／緑書房・グルーミング概論ノート・配布プリントなど

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットビジネス学	基礎	1	通年	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・動物にかかわるビジネスの特徴、今後のあり方の基本を学ぶ
- ・日本商工会議所「販売士（リテールマーケティング）検定3級」合格を目標に、ビジネス常識、店舗運営、マーケティング、マーチャンダイジングの基本知識を学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ペットビジネスとは、販売士検定とは
2	「小売業の類型」1	流通における小売業の基本①
3	「小売業の類型」2	流通における小売業の基本②
4	「小売業の類型」3	組織形態別小売業の基本①
5	「小売業の類型」4	組織形態別小売業の基本②
6	「小売業の類型」5	店舗形態別小売業の基本的役割、商業集積
7	「マーチャンダイジング」1	商品の基本、マーチャンダイジングの基本
8	「マーチャンダイジング」2	商品計画の基本
9	「マーチャンダイジング」3	販売計画、仕入計画の基本
10	「マーチャンダイジング」4	価格設定の基本
11	「マーチャンダイジング」5	在庫管理の基本
12	「小売業の類型」まとめ1	過去問題の分析
13	「小売業の類型」まとめ2	キーワードの整理
14	「マーチャンダイジング」まとめ1	過去問題の分析
15	「マーチャンダイジング」まとめ2	キーワードの整理
16	「ストアオペレーション」1	ストアオペレーションの基本
17	「ストアオペレーション」2	包装技術の基本
18	「ストアオペレーション」3	ディスプレイの基本
19	「ストアオペレーション」4	作業割当の基本
20	「マーケティング」1	小売業のマーケティングの基本
21	「マーケティング」2	顧客満足経営の基本
22	「マーケティング」3	商圈の設定と出店の基本
23	「マーケティング」4	リージョナルプロモーションの基本
24	「販売・経営管理」1	予備試験対策
25	「販売・経営管理」2	予備試験
26	「ストアオペレーション」まとめ1	過去問題の分析
27	「ストアオペレーション」まとめ2	キーワードの整理
28	「マーケティング」まとめ1	過去問題の分析
29	「マーケティング」まとめ2	キーワードの整理
30	検定試験対策	ポイントのまとめ

学習上の留意点と評価方法

- ・演習、講義を組み合わせで行う
- ・授業中の態度（積極性、誠実さなど）、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『販売士養成講習会3級テキスト』（日本商工会議所 編）

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
インターンシップ I	基礎	1	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・社会人、職業人に求められる一般常識、ビジネススキル、コミュニケーションスキルの基本を身につける
- ・自己分析によって、自身の強み・弱みを知り、強みを活かして、弱みを克服する方法を考え、行動変容に結び付ける
- ・自身のキャリアをイメージしながら、インターンシップ～就職活動の具体的なアクションプランを策定する
- ・「ペットビジネス」と連動して進行する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	社会人・職業人としての基本	マナー、ショップ運営業務、クレンリネス など
2	社会人としての一般常識	進物、冠婚葬祭、交際
3	社会人としてのスキル 1	マーケティングリサーチ 企業研究、ショップリサーチ
4	社会人としてのスキル 2	円滑な業務遂行 改善、作業割当、役割分担、職務分析
5	社会人としてのスキル 3	マーケティングの基本 マーケティング志向、経営環境分析
6	社会人としてのスキル 4	顧客満足経営、CRM
7	社会人としてのスキル 5	商圈、出店、リージョナルプロモーション
8	就職活動に向けて 1	業界研究、職種研究 インターンシップとは
9	就職活動に向けて 2	求められる人材像 ヒューマンスキル ビジネススキル 専門スキル
10	就職活動に向けて 3	自己分析 履歴書の書き方、自己PRの書き方
11	就職活動に向けて 4	SPI とは 面接、入社試験の対策
12	ビジネスマナー 1	第一印象、身だしなみ 挨拶、お辞儀、発声、立ち居振る舞い
13	ビジネスマナー 2	言葉遣い、ビジネス用語 敬語
14	ビジネスマナー 3	電話応対 訪問
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・出席状況、授業中の態度にウェイトをおいて評価する

教科書

『動物系専門学校生・トリミングスクール生のためのコミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス』 / インターズー

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習 I	基礎	1	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

文書作成ソフト(Word)を利用して、ビジネスで活用できる文書作成の技法及び知識を習得する。
目標、全員が検定「Microsoft Office Specialist Word2016」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	PC 操作の手順	自己紹介、本校 HP 案内、使用フォルダ作成、手順
2	第 1 章 Word の基礎	Word の概要と基礎知識を学ぶ
3	第 2 章 文字の入力	文字の入力方法、文書の変換方法、単語登録等
4	第 3 章 文書の作成①	ページレイアウトの設定、文書の入力、範囲の選択方法
5	第 3 章 文書の作成②	文字の修正、コピー、移動、配置、装飾、保存等
6	第 4 章 表の作成	表作成、範囲選択、レイアウト変更、書式設定、スタイル設定
7	第 5 章 文書の編集	箇条書き、ルビ、文字効果、インデント、段組み、改頁
8	第 6 章 表現力をアップする機能	ワードアート、画像、図形、文字折り返し、テーマ、ページ罫線
9	第 7 章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	ビジネス文書の基礎知識	ビジネス文書の説明
11	ビジネス文書の基礎知識	ビジネス文書の入力
12	模擬問題第 1 回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習 (最低 2 回)
14	〃	自習練習 (最低 2 回)
15	前期試験	
16	模擬問題第 2 回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習 (最低 2 回)
18	模擬問題第 3 回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習 (最低 2 回)
20	模擬問題第 4 回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習 (最低 2 回)
22	模擬問題第 5 回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習 (最低 2 回)
24	模擬問題自習練習 (最低2回)	模擬問題の反復練習。 模擬試験 1～5 回までが 90 点以上、30 分で出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、次年度の空き時間を利用して補講を行い、再受験をする。
25	模擬問題自習練習 (最低2回)	
26	模擬問題自習練習 (最低2回)	
27	模擬問題自習練習 (最低2回)	
28	模擬問題自習練習 (最低2回)	
29	模擬問題自習練習 (最低2回)	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。取得が出来なければ、次年度補講に参加し、取得を目指す。
評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

Microsoft Office Word 2016 基礎

出版:FOM 出版

Microsoft Office Specialist 問題集 Word 2016

出版:FOM 出版

参考文献

MOS Microsoft Office Specialist 攻略問題集 Word2016

日経 BP 社

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物公衆衛生学Ⅱ	基礎	2	後期	吉田 龍一郎	獣医師

講義の目的および概要

感染症の予防並びに人獣共通感染症について学習する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	消毒と滅菌	消毒と滅菌の違い
2	消毒と滅菌	化学的消毒剤の種類
3	消毒と滅菌	院内感染とその対策
4	免疫学	免疫の定義
5	免疫学	免疫に関する用語
6	免疫学	免疫の種類
7	免疫学	抗原と抗体
8	免疫学	獲得免疫とは
9	免疫学	アレルギー反応について
10	免疫学	免疫による疾病
11	人獣共通感染症	ズーノーシスとは
12	人獣共通感染症	犬からうつる感染症
13	人獣共通感染症	猫からうつる感染症
14	まとめ	まとめと試験対策
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

めざせ早期発見！わかる犬の病気
～トリマー・ペットショップスタッフが日常業務で使える知識～／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物愛護・福祉論	基礎	2	前期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

家庭動物と人の関わりについて、その歴史、法律、など様々な領域の知識を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	家畜の歴史 1	人と動物の関わりについて
3	家畜の歴史 2	家畜の原種や原産地の紹介
4	イヌの歴史	イヌ科の系統と進化
5	ネコの歴史	ネコ科の系統と進化
6	自然観察	自然観察（桃山城公園）
7	関連法規 1	動物愛護管理法
8	関連法規 2	外来種法
9	イヌ、ネコ以外の家庭動物の生理と行動 1	ウサギ、ハムスター
10	イヌ、ネコ以外の家庭動物の生理と行動 2	フェレット、フクロモモンガなど
11	イヌ、ネコ以外の家庭動物の生理と行動 3	鳥類、爬虫類、両棲類
12	救援と介護	病気の予防、介護、災害対策
13	まとめ	総復習
14	動物園見学	京都市動物園見学
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

「現代社会と家庭動物」／動物愛護社会化推進協会

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物栄養学	基礎	2	後期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

トリマーとして動物の健康維持のための栄養管理面からのアドバイスがペットのオーナーにできるようになることを目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	授業総括	自己紹介、授業の進め方、評価方法など
2	動物栄養学総論①	6大栄養素について
3	動物栄養学総論②	〃
4	動物栄養学総論③	〃
5	動物栄養学総論④	〃
6	動物栄養学総論⑤	〃
7	BCS 評価およびカロリー計算	BSC、RER、DER について
8	ペットフード市場 ペットフードの表示の見方	
9	ライフステージ別栄養管理①	繁殖期の栄養管理
10	ライフステージ別栄養管理①	成長期の栄養管理
11	ライフステージ別栄養管理①	維持期の栄養管理
12	ライフステージ別栄養管理①	高齢期の栄養管理
13	動物栄養学各論①	療法食：肥満における栄養管理
14	動物栄養学各論②	療法食：尿石症における栄養管理
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業の区切りごとに理解度確認のため小テストを行う。
授業態度、出席率、小テスト、定期試験から総合的に評価する。

教科書

特になし。自作のプリントを中心に授業を進める。

参考文献

動物栄養学／インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物生理学	基礎	2	後期	吉田 龍一郎	獣医師

講義の目的および概要

犬の些細な変化に気づき病気の早期発見、早期治療につなげることができる知識を身につける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物生理学	概要と授業計画
2	健康と疾病	健康と疾病の定義
3	健康と疾病	疾病の原因
4	健康と疾病	病気の診断方法
5	健康と疾病	問診の方法
6	健康と疾病	視診・聴診の方法
7	体表の検査	皮膚の色の変化で病気を見つける
8	局所循環障害	充血・うっ血・貧血等
9	炎症論	炎症の定義と主徴
10	腫瘍論	腫瘍の定義と特性
11	腫瘍論	命にかかわる腫瘍
12	寄生虫症	寄生虫の種類
13	眼・耳・歯の病気	その種類と症状
14	まとめ	まとめと試験対策
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

めざせ早期発見！わかる犬の病気
～トリマー・ペットショップスタッフが日常業務で使える知識～／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物学	基礎	2	前期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

ペット業界に必要な動物全般に関する理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	授業内容の紹介
2	生物の分類	分類とは、学名の話、分類階級
3	生物の分類	五つの王国
4	動物の分類	脊椎動物
5	動物の分類	無脊椎動物 1
6	自然観察	自然観察の手法
7	動物の分類	無脊椎動物 2
8	哺乳類	哺乳類の特徴
9	鳥類	鳥類の特徴
10	爬虫類	爬虫類の特徴
11	両棲類	両棲類の特徴
12	魚類	魚類の特徴
13	まとめ	総復習
14	動物園見学	京都市動物園見学
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床栄養学	専攻	1	通年	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

栄養素やその代謝など基礎栄養学を学びとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫の食性	
2	6 大栄養素①	炭水化物（糖質と食物繊維）
3	6 大栄養素②	脂質
4	6 大栄養素③	タンパク質
5	6 大栄養素④	ビタミン
6	6 大栄養素⑤	ミネラル・水
7	エネルギー評価	カロリー計算と BCS
8	犬猫に与えてはいけないもの	
9	ペットフードについて①	フードの種類
10	ペットフードについて②	フードの添加物
11	ペットフードについて③	ペットフードの選び方
12	栄養指導	肥満
13	手作りフードについて①	利点と欠点
14	手作りフードについて②	作り方
15	前期試験	
16	疾病と栄養①	腎疾患
17	疾病と栄養②	尿結石
18	疾病と栄養③	心臓疾患
19	疾病と栄養④	消化器疾患
20	疾病と栄養⑤	膵臓疾患
21	疾病と栄養⑥	肝疾患
22	疾病と栄養⑦	糖尿病
23	疾病と栄養⑧	皮膚疾患・アレルギー
24	疾病と栄養⑨	がん疾患
25	疾病と栄養⑩	その他
26	疾病と栄養⑪	予備
27	栄養管理①	非経腸栄養・部分経腸栄養
28	栄養管理②	〃
29	予備	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

他授業の進行具合により、「疾病と栄養」の計画変更を行うこともあり。授業内小テスト・筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 2 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療 コミュニケーション	専攻	2	後期	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

日常健康管理に関わる飼主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	クライアントエデュケーションとは	その意義や必要性について
2	クライアントエデュケーション 実地に当たって①	動物看護師自身が身につけるべき、身だしなみ・立ち振る舞い・言葉遣いについて
3	ホスピタリティとは	その必要性・クライアントサービスとは
4	コンプライアンスとは	その必要性・コンプライアンスを向上させる為の方法
5	院内コミュニケーション①	医療面接のプロセス
6	院内コミュニケーション②	チーム医療に関するコミュニケーション技法
7	院内マネージメント	受付業務について
8	院内マネージメント	受付業務に必要な技術
9	院内マネージメント	清算業務について
10	院内マネージメント	清算業務に必要な技術
11	院内マネージメント	電話対応について
12	グリーフケアについて	グリーフケアの具体策
13	クライアントエデュケーション の実際①	ワクチン接種について
14	クライアントエデュケーション の実際②	フィラリア予防について
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

期末試験、授業内の積極性による総合的判断

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
臨床動物看護学①「動物医療コミュニケーション」／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
猫学	専攻	2	通年	古本 千恵	猫ブリーダー

講義の目的および概要

猫の身体的特徴、飼育管理について学び、猫腫による容姿、性格の違いを理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	猫と人との関わり	古代ローマ時代からの猫と人との関係
2	猫と人との関わり	世界に広がった猫たち
3	野生のネコ科動物	野生のネコ科動物たちの特徴
4	猫の体の特徴	それぞれの器官について、他の動物との違い
5	猫の体の特徴	〃
6	猫の体の特徴	〃
7	猫の飼育管理	猫を飼う準備
8	子猫の迎え方	健康な子猫の選び方
9	繁殖	繁殖に適した猫の選び方 繁殖方法
10	繁殖	交配から妊娠、出産まで
11	ライフステージごとのケア	ワクチン摂取
12	ライフステージごとのケア	感染症
13	ライフステージごとのケア	かかりやすい病気
14	ライフステージごとのケア	老猫のケア
15	前期試験	筆記試験
16	猫の問題行動	猫独特の問題行動
17	キャットショー	キャットショーに出陳するために ショーの進行
18	猫の体型 毛色	体型の特徴や猫腫独特の毛色
19	猫腫の特徴	猫腫ごとの性格や飼育方法
20	猫腫の特徴	〃
21	猫腫の特徴	〃
22	猫腫の特徴	〃
23	猫腫の特徴	〃
24	猫腫の特徴	〃
25	猫腫の特徴	〃
26	猫腫の特徴	〃
27	猫腫の特徴	〃
28	猫腫の特徴	猫腫によってかかりやすい病気
29	猫腫の特徴	〃
30	後期試験	筆記試験

学習上の留意点と評価方法

前期試験、後期試験は筆記試験を行う。

試験結果、授業態度、結果日数などにより総合的に評価する

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物福祉・倫理	専攻	2	前期	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

動物愛護やアニマルウェルフェア、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学び、自分たちにできることを考え、実践する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物福祉とはなにか	アニマルウェルフェアの概念 愛護との違い など
2	動物福祉の歴史	西欧におけるアニマルウェルフェアの歴史
3	動物福祉の歴史	日本における動物福祉の歴史
4	動物の権利とは	アニマルニーズ 4つの権利について
5	安楽死について	定義・方法について
6	安楽死について	生命倫理原則について
7	安楽死について	安楽死選択の背景について
8	愛がん動物の福祉について	動物愛護法の目的と概要
9	愛がん動物の福祉について	動物たちの抱える問題とは？その解決方法は？（グループワーク）
10	産業動物の福祉について	5つの自由について 産業動物の福祉のために私たちができることとは？（グループワーク）
11	実験動物の福祉について	実験動物の利用場面 3Rについて
12	展示動物の福祉について	動物園の存在意義 環境エンリッチメントについて
13	飼育動物の災害時の対応について	概要・方法・準備について
14	飼育動物の災害時の対応について	もしもの時に自分たちにできることとは（グループワーク）
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・期末試験・提出物による総合評価

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
応用動物看護学①「動物福祉・倫理」／インターズー

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットファーストエイド	専攻	2	前期	阿部令子 仁木恵美	認定動物看護師 獣医師

講義の目的および概要

動物の一次救命措置を知り、その予防と対応を学ぶ。また動物病院における処置を学習する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	一次救命措置について	インフォメーション、一次救命措置（ファーストエイド）とは、FAの原則・目的について、動物に咬まれた時の対応と病気
2	一次救命措置について	緊急時の動物の取り扱い、保定法、ボディランゲージについて、搬送方法、バイタルサイン
3	一次救命措置について	実際の処置について （外傷・中毒・火傷・熱中症・低体温症・凍傷、虫刺され、ヘビに咬まれた場合 など）
4	一次救命措置について	CPR 解説、CPR 実習、包帯法実習
5	二次救命措置について	二次救命措置の A～F について
6	二次救命措置について	創傷管理、中毒対応、熱中症対応、溺水、熱傷対応
7	二次救命措置について	循環器・呼吸器・内分泌・眼科の緊急疾患対応
7.5	試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・筆記試験・実技試験による総合評価

教科書

PETS AMERICA 認定 Pet First Aid テキスト
認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
臨床動物看護学①「動物外科看護」／インターズー

参考文献

動物看護の教科書 増補改訂版 第6巻「救急救命対応」「総称の管理と包帯法」

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
エキゾチックアニマル	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

エキゾチックアニマル全般の特徴を学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	生物の分類	分類の詳細
3	動物の分類	節足動物の分類
4	動物の分類	昆虫の分類
5	哺乳類の分類と生態 1	単孔目、双前歯目など
6	哺乳類の分類と生態 2	霊長目など
7	哺乳類の分類と生態 3	ウサギ目、齧歯目など
8	自然観察	自然観察（深泥池）
9	哺乳類の分類と生態 4	鯨偶蹄目、食肉目、
10	哺乳類の分類と生態 5	奇蹄目、翼手目
11	鳥類の分類と生態 1	走鳥類、カモ目など
12	鳥類の分類と生態 2	キジ目など
13	鳥類の分類と生態 3	オウム目など
14	鳥類の分類と生態 4	スズメ目など
15	テスト	
16	爬虫類の分類と生態 1	カメ目
17	爬虫類の分類と生態 2	有鱗目
18	自然観察	自然観察（京都御苑）
19	爬虫類の分類と生態 3	ワニ目
20	両棲類の分類と生態 1	無足目、有尾目
21	両棲類の分類と生態 2	無尾目 1
22	自然観察	自然観察（モンキーパーク）
23	両棲類の分類と生態 3	無尾目 2
24	魚類の分類と生態 1	無顎類、軟骨魚類
25	魚類の分類と生態 2	硬骨魚類
26	魚類の分類と生態 3	観賞魚
27	昆虫の分類と生態	様々な昆虫の紹介
28	京大博物館見学	京都大学総合博物館見学
29	まとめ	
30	テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物保護論	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

飼養動物や野生動物、自然の保護についての現況に触れる

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	動物及び自然保護の歴史 1	動物保護の考え方
3	動物及び自然保護の歴史 2	様々な法律や条約の紹介
4	動物愛護管理法 1	動物愛護管理法の目的
5	動物愛護管理法 2	動物愛護管理法の内容
6	動物愛護管理法 3	動物愛護管理法の課題
7	世界の動物分布 1	概論、旧北区
8	自然観察	自然観察（深泥池）
9	世界の動物分布 2	東洋区、エチオピア区
10	世界の動物分布 3	新北区、新熱帯区、オーストラリア区
11	日本の動物分布	日本の動物相
12	鳥獣保護法 1	鳥獣保護法の目的
13	鳥獣保護法 2	鳥獣保護の問題点
14	森林法	日本の植生
15	前期試験	
16	文化財保護法	天然記念物とその紹介
17	自然公園法	自然公園の種類
18	自然観察	自然観察（京都御苑）
19	種の保存法 1	種の保存法の目的、内容
20	種の保存法 2	国内希少野生動植物種の紹介
21	ワシントン条約	ワシントン条約の目的、内容
22	自然観察	自然観察（モンキーパーク）
23	ラムサール条約、ボン条約	ラムサール条約、ボン条約の目的
24	環境アセスメント	環境アセスメントとは
25	外来種法	外来種問題について
26	生物多様性	生物多様性の重要性と危機
27	その他の関連事項	動物の調査法など
28	京大博物館見学	京都大学総合博物館見学
29	まとめ	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物健康管理学	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

コンパニオンアニマルとその飼養管理の方法について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	健康な動物選び	健康な動物の特徴
3	哺乳類の飼養管理 1	入手方法、準備、装置
4	哺乳類の飼養管理 2	装置、餌
5	哺乳類の飼養管理 3	日常管理
6	自然観察	自然観察（桃山城公園）
7	哺乳類の飼養管理 4	フクロモモンガ
8	哺乳類の飼養管理 5	リスザル
9	哺乳類の飼養管理 6	ウサギ
10	哺乳類の飼養管理 7	リス
11	哺乳類の飼養管理 8	ネズミ類
12	哺乳類の飼養管理 9	ハムスター類
13	哺乳類の飼養管理 10	スナネズミほか
14	哺乳類の飼養管理 11	モルモット
15	前期試験	
16	哺乳類の飼養管理 12	チンチラ、デグー
17	哺乳類の飼養管理 13	ハリネズミ
18	哺乳類の飼養管理 14	フェレット
19	哺乳類の飼養管理 15	ネコ
20	哺乳類の飼養管理 16	ネコ
21	哺乳類の飼養管理 17	ネコ
22	哺乳類の飼養管理 18	総括
23	鳥類の飼養管理 1	装置、餌
24	鳥類の飼養管理 1	種別の留意点
25	爬虫類の飼養管理	装置、餌、留意点
26	両棲類の飼養管理	装置、餌、留意点
27	魚類の飼養管理	装置
28	魚類の飼養管理	留意点
29	まとめ	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習Ⅱ	基礎	2	通年	寺岡朋美・加来博子 高橋由美子・中川栞	トリマー（4名）

講義の目的および概要

新しい犬種のトリミングの習得、全体の時間短縮を目標とする。犬種ごとのカットの特徴を理解し習得することによって、正確な技術・応用力を身につける。全ての作業において正確・丁寧・迅速に行う事を意識することで即戦力につなげる。

授業計画

4コマ/回

回	主 題	授 業 内 容
1 ～ 4	新たな犬種の型とクリッパーラインを理解する (ケネル&ラムクリップ)	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップのデモンストレーション さらなる時間短縮の方法と手順を習得し、意識する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
5 ～ 15	新たな犬種の型とクリッパーラインを理解する (ミニチュア・シュナウザー、アメリカン・コッカー・スパニエルなど)	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 時間設定をし時間短縮する（ベーシックは午前中に終了） ミニチュア・シュナウザー、アメリカン・コッカー・スパニエルのデモンストレーション 新たな犬種の完成型を把握する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
16 ～ 22	時間の感覚を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 新たな犬種のトリミング方法を理解する (ベーシック…午前中に終了 カット…2時間仕上げ) 小型犬1～2人 大型犬2～3人
23 ～ 30	スピードアップかつ 正確・丁寧さを追求	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ベーシック、カットの時間意識（4時間仕上げ） 小型犬1～2人 大型犬2～3人
31 ～ 46	NAV Aトリマーライセンス2級合格を目指し、ケネル&ラムクリップを強化	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 試験に向けてクリッピングのスピード強化と正確さを習得する ケネル&ラムクリップを3時間以内で仕上げる 小型犬1～2人 大型犬2～3人
47 ～ 51	NAV Aトリマーライセンス2級合格を目指し、ケネル&ラムクリップの完成度向上	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ペット・クリップ、完成度向上と応用力を習得する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
52 ～ 60	NAV Aトリマーライセンス1級合格を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ケネル&ラムクリップを2時間以内で仕上げる 小型犬1～2人 大型犬2～3人

※随時イラスト練習を行う

学習上の留意点と評価方法

欠課日数、授業態度、課題提出などにより総合的に評価する

教科書

参考文献

グルーミング概論ノート、プリント

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習Ⅲ	専攻	2	通年	大塚浩也・中川栞	トリマー（2名）

講義の目的および概要

プロとして求められる人材を目指す。新卒トリマーに求められることは、基礎の習得である。基礎とは、犬への対応能力・犬の扱い・道具の扱い・ベーシック作業・時間意識であり、基礎の重要性の認識を高め、技術および意識向上を目指す。学生のトリミングからプロのトリミングを身につける。学生からプロへの意識変化を求める。

授業計画

4コマ/回

回	主 題	授 業 内 容
1～15	<基礎> スタンダード 犬の扱い 時間意識 ベーシックの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダードの重要性を認識するために、犬種への理解を深める。 ・ 1年次で得た知識と経験を踏まえてのトリミング ・ 犬を理解する能力、犬との距離感を習得し、犬への対応能力・犬の扱い方の向上を目指す ・ 時間意識の重要性を理解 (犬の負担軽減、プロの仕事とは、を理解させる) ・ 道具の扱い方の徹底指導 ・ ベーシック作業の重要性を理解 (ベーシックの重要さ、難しさを理解させる) <実習形態> <ul style="list-style-type: none"> ・ カット犬一頭を1～2人 ・ 一人で複数頭
16～30	<応用> スタンダード 犬の扱い 時間意識 ベーシックの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダードを理解した上で、様々なバリエーションのカットスタイルをトリミング。 ・ 犬の扱いを習得 (犬種別、個体別、持ち方、気構え、など犬との関係を構築した扱いを習得) ・ 道具の扱いを習得。 (犬とトリマーにとって、より安全な扱い方を身につける。) ・ ベーシック作業の徹底指導 (特にベイジング、ドライイングの向上とその要因を認識し行う) ・ カットスタイルへの対応 (求められるスタイルに対応するため、日頃の努力と情報収集を行うことを求める) ・ 仕上げ時間の短縮 (時間を設定し、必ず時間内に終える事とする) ・ 競技会およびコンテストに対応できるトリミングを身につける。(スタンダードを重視するカットスタイル) <実習形態> <ul style="list-style-type: none"> ・ カット犬一頭を1～2人 ・ 一人で複数頭。 ・ フェイクドッグの活用 ・ 講習など

学習上の留意点と評価方法

授業態度、欠課・遅刻日数、課題などにより評価。実技試験は行わないが、授業で評価していく。これらを総合的に評価。授業態度・欠課日数・遅刻回数の評価は重視。

教科書

参考文献

グルーミング概論で使用する教科書・ノート・プリント
 様々な関連文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
インターンシップⅡ	基礎	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・インターンシップ、就職活動に向けて、自分自身の強みを把握し、職業観を確立する
- ・社会人として、コンパニオンアニマルにかかわるプロとして、求められる接遇やコミュニケーションの実践力を身につける
- ・ビジネスマナー実務検定対策と連動する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ビジネスパーソンとしての資質とは 就職対策 (SPI、面接対策、履歴書)
2	必要とされる資質	(1) ビジネスパーソンとしての資質 (2) 執務要件
3	企業実務	組織とは 組織の機能
4	対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
5	対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
6	技能 1	(1) 情報 (2) 文書
7	技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
8	検定対策 1	過去問題分析
9	検定対策 2	キーワードとポイント
10	インターンシップに向けて	目的・目標、準備すること など
11	インターンシップを終えて	自己分析、職場分析 など
12	キャリアプランニング 1	インターンシップでの経験を分析する
13	キャリアプランニング 2	10年先を見据えた新入社員としてのありかた
14	キャリアプランニング 3	入社1年目の成長
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・演習、グループワーク、ロールプレイを中心に行う
- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、プレゼンテーション、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『動物系専門学校生・トリミングスクール生のためのコミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス』 / インターズー

参考文献

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』 / 早稲田教育出版
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』 / 早稲田教育出版

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習Ⅱ	基礎	2	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

表計算ソフト Excel を利用して、PC でビジネス力が高めるための技法及び知識を習得する。

目標、全員が検定「Microsoft Office Specialist Excel2016」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	第1、2章 基礎知識、データ入力	Excel の概要と基礎知識、データ入力
2	第3章 表の作成	計算式の入力、移動、コピー、関数、罫線、表示形式
3	第4章 数式の入力	関数の入力方法、セルの参照
4	第4章 数式の入力	相対参照、絶対参照
5	第5章 複数シートの操作	作業グループの設定、シート間の集計、リンク貼り付け
6	第6章 表の印刷	印刷方法、ページレイアウト、ヘッダー・フッター、改頁プレビュー
7	第7章 グラフの作成	グラフの作成、グラフの構成、グラフの修正、
8	第8章 データベースの利用	データの並べ替え、フィルターを使った抽出、
9	第9章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	検定用 関数対策①	関数問題①
11	検定用 関数対策②	関数問題②
12	模擬問題第1回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習（最低2回）
14	〃	自習練習（最低2回）
15	前期試験	
16	模擬問題第2回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習（最低2回）
18	模擬問題第3回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習（最低2回）
20	模擬問題第4回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習（最低2回）
22	模擬問題第5回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習（最低2回）
24	模擬問題自習練習（最低2回）	模擬問題の反復練習。 模擬試験1～5回までが90点以上、30分で出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、空き時間を利用して補講を行い再受験をする。
25	模擬問題自習練習（最低2回）	
26	模擬問題自習練習（最低2回）	
27	模擬問題自習練習（最低2回）	
28	模擬問題自習練習（最低2回）	
29	模擬問題自習練習（最低2回）	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。

評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

Microsoft Office Excel2016 基礎

出版:FOM 出版

Microsoft Office Specialist 問題集 Excel2016

出版:FOM 出版

参考文献

MOS Microsoft Office Specialist 攻略問題集 Excel2016

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネスマナー・一般常識	基礎	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・「ビジネス実務マナー検定 3 級」合格に向けて、ビジネス実務遂行のために必要なスキルを身につける
- ・自信をもって就職活動に臨むために、演習・実習を通じて社会人に求められる資質を磨く

授業計画

回	主 題	内 容
1	オリエンテーション	検定試験のあらまし、過去問題を解いてみよう
2	I 必要とされる資質	(1) ビジネスパーソンとしての資質 (2) 執務要件
3	II 企業実務	組織の機能
4	III 対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
5	III 対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
6	IV 技能 1	(1) 情報 (2) 文書
7	IV 技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
8	検定対策 1	過去問題分析
9	検定対策 2	キーワードとポイント
10	職場での実践 1	「資質を磨く」
11	職場での実践 2	「実務力を高める」、「技能を磨く」
12	職場での実践 3	「対人関係を築き、維持する」
13	接遇の実践	積極的傾聴(聴く)、伝える、クレーム対応 など
14	職場内のコミュニケーション	ほうれんそう、雑談力 など
15	前期試	

学習上の留意点と評価方法

- ・過去問題の演習を中心に行う
- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、プレゼンテーション、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド 3 級』／早稲田教育出版
『ビジネス実務マナー検定 実問題集 3 級』／早稲田教育出版

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ショップ会計	専攻	2	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

商品販売業の経営に不可欠とされる簿記（会計の知識）を身に付ける。

全員、日商簿記検定3級を受験し、合格を目指す。

授業には、電卓とマーカーを必ず持参。宿題は必ず次の週に提出。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	簿記の基礎、日常の手続き	目的、概要の基礎知識。記帳手続や帳簿について学ぶ
2	日常の手続き、商品売買Ⅰ	仕訳→総勘定元帳へ転記→試算表作成、純損益の計算
3	商品売買Ⅰ	三分法、分記法、掛取引、手付金内金、商品券
4	商品売買Ⅱ	返品（三分法、分記法）、諸掛り
5	商品売買Ⅱ、現金・預金、	商品有高帳、簿記上の現金、預金の種類としくみ
6	小口現金、クレジット売掛金	小口現金のしくみと出納帳、クレジットカードの取引
7	手形、電子記録債権・債務	手形を利用した取引、手形のデメリットを克服電子記録
8	さまざまな帳簿の関係	仕訳帳、総勘定元帳、補助簿（6つの帳簿）
9	その他の取引Ⅰ、Ⅱ	賃借(借用証書・手形・役員)利息、固定資産取得・売却
10	その他の取引Ⅲ、訂正仕訳	未収/未払金、修繕/改良、仮払/仮受金、給与、訂正仕訳
11	試算表	試算表の作成、問題の解き方
12	決算、決算整理Ⅰ、Ⅱ	決算手続と流れ、現金過不足、貯蔵品、当座借越
13	決算整理Ⅲ、Ⅳ	売上原価、売上債権貸倒れ、
14	前期試験対策	過去問題
15	前期試験	
16	決算整理Ⅴ、Ⅵ、	固定資産の減価償却、経過勘定項目の処理、
17	決算整理後TB、	決算後TB作成、精算表のしくみと作成
18	精算表の作成	精算表のしくみと作成
19	帳簿の締切、P/L・B/S作成	純損益の計算、帳簿の締切、財務諸表の作成
20	株式の発行、剰余金の配当と処分	株式会社のしくみ、利益剰余金の配当と処分
21	税金、証ひょう	法人税と消費税の処理、証ひょうによる仕訳
22	伝票会計	伝票のしくみと起票方法や転記の方法
23	過去問題 解説	
24	過去問題 解く	
25	過去問題 解く	
26	過去問題 解説	
27	過去問題 解く	
28	過去問題 解く	
29	後期試験対策	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

自作プリントを中心に授業をする。教科書は分からない時に見る。

検定前の2週間は検定対策授業を実施。全員参加、資格取得を目指す。

毎回宿題あり。宿題は次の授業で提出。

評価は、授業時の質問、宿題提出、試験結果、授業態度、欠席日数により、総合判断する。

教科書

日商簿記3級合格テキスト Ver.11.0 TAC 出版

参考文献

日商簿記検定3級合格トレーニング TAC 出版 (宿題として使用)

TAC 直前予想問題 TAC 出版 (検定対策)

シラバス 目次

【1年 動物看護師コース】●実務経験のある教員による授業科目(1,050)

●動物形態機能学 (120)	32
●動物感染症学 I (60)	33
●動物看護学概論 (60)	34
●動物福祉・倫理 (30)	35
●伴侶動物学 I (30)	36
●動物内科看護学 (30)	37
●動物外科看護学 I (30)	38
●動物臨床看護学・総論 (30)	39
●動物臨床栄養学 (60)	40
●動物臨床検査学 I (30)	41
●動物医療コミュニケーション (30)	42
●動物形態機能学実習 I (30)	43
●動物内科看護学実習 (90)	44
●動物臨床検査学実習 (90)	45
●猫学 (60)	46
●ペットアドバイザー演習 (30)	47
●グルーミング実習 (240)	48
コンピュータ実習 (60)	49

【2年 動物看護師コース】●実務経験のある教員による授業科目(960)

●動物繁殖学 (30)	50
●動物病理学 (30)	51
●動物薬理学 (60)	52
●動物感染症学 II (30)	53
●動物医療関連法規 (30)	54
●公衆衛生学 (60)	55
●人間動物関係学 (30)	56
●動物行動学 (30)	57
●伴侶動物学 II (30)	58
●産業動物・実験動物学 (60)	59
●野生動物学 (30)	60
●動物外科看護学 II (30)	61
●動物臨床看護学・各論 (120)	62
●動物臨床検査学 II (30)	63
●動物形態機能学実習 II (15)	64
●動物外科看護学実習 (90)	65
●動物臨床看護学実習 (60)	66
●認定動物看護師の理解 (60)	67
●ペットファーストエイド (15)	68
●ビジネススキル I (30)	69
●ビジネススキル II (30)	70
●コミュニケーション技法 基礎 (30)	71
●コミュニケーション技法 応用 (30)	72

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物形態機能学	基礎動物看護学	1	通年	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物の生命維持の仕組みと、解剖学および生理学的な基礎を知ることによって生命体としての動物を理解できるようになることを目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物機能形態学総論	形態学とは何か？機能学の意味を学ぶ
2	細胞の構造と機能 1	体の成り立ち、物質の移動について
3	細胞の構造と機能 2	細胞の形と構造について
4	細胞の構造と機能 3	細胞内小器官、DNA、細胞分裂
5	組織	組織の分類と種類について
6	骨格 1	主な骨格について
7	骨格 2	骨の形状と構造・機能について
8	骨格 3	骨の形状による分類
9	骨格 4	関節について
10	骨格 5	破骨細胞、骨芽細胞
11	筋肉 1	筋肉の分類と種類
12	筋肉 2	主な骨格筋について
13	筋肉 3	筋肉の構造と機能
14	筋肉 4	筋収縮の仕組みについて
15	神経 1	神経系の成り立ちと構造について
16	神経 2	ニューロンの構造、グリア細胞
17	神経 3	活動電位、シナプス伝達
18	神経 4	神経系の分類
19	神経 5	脳の構造と機能、脊髄
20	神経 6	自律神経、体性神経
21	感覚器 1	感覚の分類
22	感覚器 2	目の構造と働き
23	感覚器 3	耳の構造と働き
24	感覚器 4	味覚、嗅覚、痛覚のしくみ
25	呼吸器 1	呼吸の成り立ちと構造・機能
26	呼吸器 2	外呼吸と内呼吸、酸素・二酸化炭素の移動
27	呼吸器 3	呼吸筋について
28	呼吸器 4	呼吸運動の調節機構について
29	まとめ	
30	前期試験	

回	主 題	授 業 内 容
31	消化器 1	消化器系の構造と機能
32	消化器 2	消化管、消化腺
33	消化器 3	消化管運動
34	消化器 4	肝臓、胆嚢の構造と機能
35	消化器 5	膵臓の構造と機能
36	消化器 6	排便反射
37	循環器 1	循環器の構造と機能
38	循環器 2	心臓の構造と機能、心臓の位置、外形
39	循環器 3	血液の流れ、動脈、静脈、毛細血管
40	循環器 4	刺激電動系
41	造血器 1	骨髄と血液の関連について
42	造血器 2	血球成分と血漿成分、各血球の働き
43	泌尿器 1	泌尿器系の成り立ちと構造
44	泌尿器 2	腎臓の構造と機能
45	泌尿器 3	ネフロン
46	泌尿器 4	尿生成の仕組み、排尿反射
47	泌尿器 5	腎血流量と糸球体ろ過量の調節機構
48	泌尿器 6	クリアランスの意味
49	皮膚 1	皮膚の構造と機能
50	皮膚 2	付属器官
51	免疫 1	免疫とは何か？
52	免疫 2	免疫にかかわる細胞、免疫グロブリン、アレルギー
53	内分泌 1	内分泌の定義、主な内分泌腺
54	内分泌 2	ホルモンの種類と主な働き
55	内分泌 3	フィードバック機構、血圧の調節
56	内分泌 4	ストレス下における反応
57	内分泌 5	カルシウムの調節
58	内分泌 6	血糖値の調節
59	まとめ	
60	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業の区切りごとに理解度を確認するために小テストを行う。小テストで8割正解できるようになるまで何度も繰り返し行う。

評価は小テスト、出席率、定期試験を総合的に判断して行う。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 基礎動物看護学 1/インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物感染症学 I	基礎動物看護学	1	通年	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

感染症の原因・経路・症状・予防および治療法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	感染症概論	微生物・病原微生物とは
2	感染症概論	感染・感染症とは
3	感染症概論	感染症の種類について
4	感染症概論	感染が成り立つには
5	感染症概論	宿主の感染防御機構について
6	細菌感染症	細菌の大きさと形、構造について
7	細菌感染症	細菌の増殖について
8	細菌感染症	細菌の培養と同定について
9	細菌感染症	細菌感染症の治療について
10	細菌感染症	犬猫の主な細菌感染症について
11	細菌感染症	犬猫の主な細菌感染症について
12	細菌感染症	犬猫の主な細菌感染症について
13	特殊な細菌感染症	犬猫の特殊な細菌感染症について
14	特殊な細菌感染症	犬猫の特殊な細菌感染症について
15	前期試験	前期試験
16	真菌感染症	真菌の構造と形態について
17	真菌感染症	真菌症の検査法について
18	真菌感染症	真菌症の治療と予防について
19	真菌感染症	犬猫の主な真菌感染症について
20	ウイルス感染症	ウイルスの性状について
21	ウイルス感染症	犬の主なウイルス感染症について
22	ウイルス感染症	犬の主なウイルス感染症について
23	ウイルス感染症	猫の主なウイルス感染症について
24	プリオン病	プリオンの性状とプリオン病について
25	寄生虫症	寄生虫とは
26	寄生虫症	寄生虫の分類について
27	寄生虫症	犬猫の主な蠕虫症について
28	寄生虫症	犬猫の主な原虫症について
29	寄生虫症	犬猫の主な外部寄生虫症について
30	後期試験	後期試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
前期末と後期末に筆記試験による評価を行う

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 基礎動物看護学 3/インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物看護学概論	応用動物看護学	1	通年	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	インフォメーション	自己紹介 授業のルール説明
2	動物看護職とは	動物看護職の具体的な職務内容、専門職とは、国家資格とは
3	動物看護師を取り巻く獣医療の歴史	動物看護職の国家資格までの道のり、欧米の動物看護師との違い
4	愛玩動物看護師法	法律の特徴 留意すべき点について 職域について
5	ナイチンゲールの看護理論	重きを置くこと 理論の解説
6	ヘンダーソンの看護理論	重きを置くこと 理論の解説
7	医療と看護の違い	看護・医療の視点と目的
8	動物看護とは	目指すべきことと職務範囲について 動物看護理論について
9	動物看護過程とは	5つのステージ 動物看護計画立案の詳細
10	POMR POS について	診療録・動物看護記録の書き方
11	看護記録とは (SOAP 含む)	動物看護記録の特徴、分類方法について
12	動物看護者のための倫理綱領について	生命の尊重、信頼関係の構築に必要なこととは
13		インフォームドコンセントとは 守秘義務とは
14		「責任」とは 「学習の継続」のために必要な事とは
15	前期試験	
16	前期試験の振り返り	前期試験の解説・復習
17	動物看護者のための倫理綱領について	看護管理 看護教育 看護研究について
18		まとめ
19	グリーフ	グリーフとは グリーフワークとは
20	倫理とは	倫理と応用倫理について
21	看護倫理原則とは	5つの原則とその意味
22	看護倫理原則の活用について	動物看護者の倫理綱領との関係
23	徳の倫理とは	動物看護師として目指すべき人格とは？
24	ケアの倫理とは	看護を行うにあたって何に留意すべきか
25	「道徳的不確かさ」の対応	道徳的不確かさを感じた時の考え方、解決への step
26	「道徳的不確かさ」の事例検討	事例紹介 解決のための step 1 (グループワーク)
27		解決のための step 2 (グループワーク)
28		解決のための step 3 (グループワーク)
29		解決のための step 4 (グループワーク)
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内レポートと期末試験によって評価を行う

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
 応用動物看護学①「動物福祉・倫理」/インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物福祉・倫理	応用動物看護学	1	前期	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

動物愛護やアニマルウェルフェア、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学び、自分たちにできることを考え、実践する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物福祉とはなにか	アニマルウェルフェアの概念 愛護との違い など
2	動物福祉の歴史	西欧におけるアニマルウェルフェアの歴史
3	動物福祉の歴史	日本における動物福祉の歴史
4	動物の権利とは	アニマルニーズ 4つの権利について
5	安楽死について	定義・方法について
6	安楽死について	生命倫理原則について
7	安楽死について	安楽死選択の背景について
8	愛がん動物の福祉について	動物愛護法の目的と概要
9	愛がん動物の福祉について	動物たちの抱える問題とは？その解決方法は？（グループワーク）
10	産業動物の福祉について	5つの自由について 産業動物の福祉のために私たちにできることは？（グループワーク）
11	実験動物の福祉について	実験動物の利用場面 3Rについて
12	展示動物の福祉について	動物園の存在意義 環境エンリッチメントについて
13	飼育動物の災害時の対応について	概要・方法・準備について
14	飼育動物の災害時の対応について	もしもの時に自分たちにできることは（グループワーク）
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・期末試験・提出物による総合評価

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
 応用動物看護学①「動物福祉・倫理」／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
伴侶動物学Ⅰ	応用動物看護学	1	前期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬種や特徴を理解し、アニマルウェルフェア「5つの自由」を遵守した飼育方法について知識を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫を取り巻く日本の現状	現在のペット事情について
2	犬の歴史	犬の歴史、家畜化について
3	犬種による違いと特徴①	犬種特性
4	犬種による違いと特徴②	〃
5	犬の適切な飼育環境とは①	住居、犬に必要なグッズなど
6	犬の適切な飼育環境とは②	犬に必要な生活の仕方について
7	行動学総論	行動学発展の流れ
8	維持行動	摂食・飲水・排泄・身づくろい・護身行動
9	社会行動①	コミュニケーション行動
10	社会行動②	〃
11	行動の発達と学習①	新生子期・移行期・社会化期
12	行動の発達と学習②	若年期・成熟期・高齢期
13	犬の学習理論①	古典的条件付け
14	犬の学習理論②	オペラント条件付け
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 応用動物看護学3 / インターズー

参考文献

動物看護コアテキスト / ファームプレス

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護学	臨床動物看護学	1	前期	高橋佳代子・辻綾 樫原伸哉・長島美佳	認定動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫の健康とは	
2	一般的な管理（異常な容態含む）	生活環境・食事管理・飲水など
3	〃	皮膚・被毛の手入れ・デンタルケアなど
4	〃	散歩・運動・排泄について
5	定期的な健康診断	定期的な生体・検体検査など
6	バイタルサインについて	バイタルサインとは
7	バイタルチェックと体重測定	体温・呼吸数・脈拍（心拍）数・体重測定など
8	動物病院での診療補助	保定法・保定法について
9	食事の管理	食事介助・愛情看護・食事の工夫（調理）
10	輸液管理	輸液管理の基礎知識（目的・ルート・輸液剤の種類）
11	〃	輸液ラインに必要な機材・準備・輸液量・動物の観察
12	輸血の基礎知識	事前検査・方法・動物の観察
13	注射針とシリンジの取扱い	滅菌器材の取扱い等について
14	薬剤の取扱い	調剤・投薬法について
15	まとめ（試験）	

※実習授業との調整により授業内容が前後する可能性があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、提出物、授業内評価（小テストなど）による

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト臨床動物看護学1 / インターズー
動物看護実習テキスト第2版 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物外科看護学 I	臨床動物看護学	1	後期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

2年時における外科手術実習の前に、外科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。収受付けの看護について系統的に理解し、外科手術補助に必要な知識を身に付ける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	外科手術の流れ	周術期の一連の流れを学ぶ
2	無菌操作の重要性	なぜ無菌操作が必要なのかを理解する
3	洗浄・消毒・滅菌	洗浄・消毒・滅菌について
4	手術前に行うべきこと①	飼い主への説明・承諾書・術前検査・ASA分類
5	手術前に行うべきこと②	術衣・ドレープの準備、および滅菌
6	機械類の準備および滅菌	準備の必要性について
7	毛刈・術野の消毒	毛刈、術野の消毒について
8	外科器具①	外科器具の名称と使用用途を学ぶ
9	外科器具②	外科器具の名称と使用用途を学ぶ
10	外科器具③	外科器具の名称と使用用途を学ぶ
11	外科器具④	外科器具の名称と使用用途を学ぶ
12	外科器具⑤	外科器具の名称と使用用途を学ぶ
13	予備	
14	予備	
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内評価

教科書

as BOOKS もうコワくない！周術期の動物看護パーフェクトナビ／インターズー

as BOOKS 動物看護師のための麻酔超入門／インターズー

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 1／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学・総論	臨床動物看護学	1	後期	松永 美絵	認定動物看護師

講義の目的および概要

看護対照動物の現状を把握し、看護の目的・目標を設定し看護計画を立案。グループワークを行い、看護記録を作成する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物看護記録①	動物看護過程の復習と今後の展開について
2	動物看護記録②	動物看護記録の作成について
3	動物看護記録の作成①	記録作成の目的と作成方法の注意点
4	動物看護記録の作成②	記入時の注意点を踏まえ記録を作成する
5	ライフステージ別の動物看護①	新生児、幼齢期管理：成長期に必要な計画と実践
6	ライフステージ別の動物看護②	成熟期、高齢期管理：体の変化と高齢による好発疾患
7	経過別の動物看護①	急性期・回復期の動物看護
8	経過別の動物看護②	慢性期・終末期の動物看護
9	経過別の動物看護③	終末期医療について
10	入院管理	入院中の対応と預かりの注意点
11	在宅管理	在宅管理と退院の注意点
12	看護事例①	事例等をふまえてチーム医療を考える
13	看護事例②	事例等をふまえてチーム医療を考える
14	まとめ	動物臨床看護学・総論の振り返り
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度（グループワーク参加等）、レポート課題提出、定期試験

教科書

認定動物看護教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学3 / インターズー

参考文献

動物看護コアテキスト / ファームプレス

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床栄養学	臨床動物看護学	1	通年	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

栄養素やその代謝など基礎栄養学を学びとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫の食性	
2	6 大栄養素①	炭水化物（糖質と食物繊維）
3	6 大栄養素②	脂質
4	6 大栄養素③	タンパク質
5	6 大栄養素④	ビタミン
6	6 大栄養素⑤	ミネラル・水
7	エネルギー評価	カロリー計算と BCS
8	犬猫に与えてはいけないもの	
9	ペットフードについて①	フードの種類
10	ペットフードについて②	フードの添加物
11	ペットフードについて③	ペットフードの選び方
12	栄養指導	肥満
13	手作りフードについて①	利点と欠点
14	手作りフードについて②	作り方
15	前期試験	
16	疾病と栄養①	腎疾患
17	疾病と栄養②	尿結石
18	疾病と栄養③	心臓疾患
19	疾病と栄養④	消化器疾患
20	疾病と栄養⑤	膵臓疾患
21	疾病と栄養⑥	肝疾患
22	疾病と栄養⑦	糖尿病
23	疾病と栄養⑧	皮膚疾患・アレルギー
24	疾病と栄養⑨	がん疾患
25	疾病と栄養⑩	その他
26	疾病と栄養⑪	予備
27	栄養管理①	非経腸栄養・部分経腸栄養
28	栄養管理②	〃
29	予備	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

他授業の進行具合により、「疾病と栄養」の計画変更を行うこともあり。授業内小テスト・筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 2 / インターズー

参考文献

臨床のための小動物栄養学 / ファームプレス

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床検査学 I	臨床動物看護学	1	前期	高橋佳代子・辻綾 檜原伸哉・長島美佳	認定動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい取扱い方、所見の記録方法を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	検査の種類と目的	
2	尿検査について	意義、検査項目
3	〃	検体の取扱い、検査方法など
4	糞便検査	意義、検査項目
5	〃	検体の取扱い、検査方法など
6	血液検査	意義、採血方法、検体処理
7	〃	全血球計算
8	〃	血液塗抹
9	〃	血液化学検査
10	〃	血液凝固系検査、血液ガス
11	細胞診	意義、検体採取・処理方法など
12	眼科検査	検査項目、検査器材など
13	皮膚検査・外耳道検査	検査項目、検査器材など
14	画像診断	X線検査
15	〃	超音波検査・CT・MRI検査・内視鏡検査

※実習授業との調整により授業内容が前後する可能性があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、提出物、授業態度による

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 2 / インターズー
動物看護実習テキスト第 2 版 / インターズー
犬と猫の血液学キソのキソからやさしく解説 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療 コミュニケーション	臨床動物看護学	1	後期	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

日常健康管理に関わる飼主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	クライアントエデュケーションとは	その意義や必要性について
2	クライアントエデュケーション 実地に当たって①	動物看護師自身が身につけるべき、身だしなみ・立ち振る舞い・言葉遣いについて
3	ホスピタリティとは	その必要性・クライアントサービスとは
4	コンプライアンスとは	その必要性・コンプライアンスを向上させる為の方法
5	院内コミュニケーション①	医療面接のプロセス
6	院内コミュニケーション②	チーム医療に関するコミュニケーション技法
7	院内マネージメント	受付業務について
8	院内マネージメント	受付業務に必要な技術
9	院内マネージメント	清算業務について
10	院内マネージメント	清算業務に必要な技術
11	院内マネージメント	電話対応について
12	グリーフケアについて	グリーフケアの具体策
13	クライアントエデュケーション の実際①	ワクチン接種について
14	クライアントエデュケーション の実際②	フィラリア予防について
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

期末試験、授業内の積極性による総合的判断

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
臨床動物看護学①「動物医療コミュニケーション」／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物形態機能学実習 I	実習科目	1	前期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物の身体の形態および機能を、骨格標本や臓器模型を使って理解し、座学で学んだことを強化する。また主要臓器の組織像を観察し、臓器の働きについて理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	体位と方向を示す用語	
2	全身骨格の名称	骨格標本をみて各骨格の名称や機能を理解する
3	全身骨格の名称	骨格標本をみて各骨格の名称や機能を理解する
4	主な骨格のスケッチ	呼格標本のスケッチをしながら骨格の名称を覚える
5	関節の構造を理解する	関節の標本を見て学ぶ
6	内臓器官の位置①	臓器模型を用いて各臓器の位置と名称を理解する
7	内臓器官の位置②	臓器模型を用いて各臓器の位置と名称を理解する
8	主な筋肉・浅層	主な浅層の筋肉を覚える
9	主な筋肉・深層	主な深層の筋肉を覚える
10	顕微鏡の操作方法①	顕微鏡を正しく使えるようになる
11	顕微鏡の操作方法②	顕微鏡を正しく使えるようになる
12	主な臓器①	組織標本を顕微鏡で観察してスケッチする
13	主な臓器②	組織標本を顕微鏡で観察してスケッチする
14	主な臓器③	組織標本を顕微鏡で観察してスケッチする
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

出席率、提出物、定期試験を総合的に評価する。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 基礎動物看護学 1 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護実習	実習科目	1	通年	高橋佳代子・辻綾 檜原伸哉・長島美佳	認定動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	実習での注意点	実習に参加するための準備・実習室の使用法など
2	実習に参加する動物について	モデル犬の観察・取扱い・環境の準備など
3	記録法	カルテ・記録用紙等への記入・カルテ用語について
	日常の健康管理の実践	ブラッシング・シャンプー・デンタルケアなど
	〃	散歩の仕方・安全な歩かせ方など
	定期的な健康診断の実践	体重測定・バイタルチェック
	〃	一般身体検査・採尿・採便法
	〃	〃
	保定法	動物の観察、エリザベスカラー・口輪の使用法
	〃	立位・座位
	〃	横臥位・仰臥位・各処置に適した保定
	駆血法	前肢からの採血時の保定と駆血
	〃	後肢・頸部からの採血時の保定と駆血
	食事管理	食事介助・強制給餌・食事の工夫
	注射針とシリンジの取扱い	バイアルからの吸引など
	〃	アンプルからの吸引など
	輸液療法の管理	静脈確保に必要な準備など
	〃	〃
	〃	輸液ラインの準備・輸液ポンプの使用法など
	〃	〃
	〃	輸液療法の実際
	薬剤の取扱い	調剤法など
	〃	投薬法など
	〃	〃
	輸血療法	事前検査（血液型検査・クロスマッチ）など
	〃	〃
	〃	輸血療法の手順、患者動物の管理・観察
	看護技術まとめ	
44	看護技術まとめ	
45	総まとめ（試験）	

※動物内科看護学（座学）との調整により授業内容が前後する可能性があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内態度による

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 1 / インターズー
動物看護実習テキスト第 2 版 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床検査学実習	実習科目	1	通年	高橋佳代子・辻綾 檜原伸哉・長島美佳	認定動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	実習に臨むための準備	検体台の準備、検体の取扱い、医療廃棄物について
2	顕微鏡の取扱い方	
	尿検査	検体の取扱い、性状検査、尿比重
	〃	尿試験紙検査、尿沈渣
	〃	まとめ
	糞便検査	検体の取扱い、性状検査、直接法
	〃	浮遊法、その他
	〃	まとめ
	血液検査	採血準備、採血補助、検体処理、検体の取扱い
	〃	CBC
	〃	〃
	〃	血液塗抹標本作成
	〃	血液塗抹標本の観察、白血球分類
	〃	血液化学検査、その他
	〃	血液検査のまとめ
	細胞診	検査器材の準備、標本作成
	眼科検査	観察、視覚検査、STT、フルオレセイン染色検査など
	皮膚検査	スクリーニング検査
	〃	耳道検査
	〃	真菌検査
	〃 (細菌検査含む)	細菌検査
	X線検査	ポジショニング
	〃	読影の準備、データ・フィルムの管理
	超音波検査	器材の確認
	神経学的検査	意義、観察、記録について
	〃	姿勢反応試験、脊髄反射試験
	〃	脳神経機能試験、知覚試験
	その他特殊検査等について	検査キッド、外注検査
44	〃	
45	まとめ (試験)	

※動物臨床検査学との調整により授業内容が前後する可能性があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業態度（取り組み、積極性）による

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学2 / インターズー
動物看護実習テキスト第2版 / インターズー
犬と猫の血液学キソのキソからやさしく解説 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
猫学	専門科目	1	通年	古本 千恵	猫ブリーダー

講義の目的および概要

猫の身体的特徴、飼育管理について学び、猫腫による容姿、性格の違いを理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	猫と人との関わり	古代ローマ時代からの猫と人との関係
2	猫と人との関わり	世界に広がった猫たち
3	野生のネコ科動物	野生のネコ科動物たちの特徴
4	猫の体の特徴	それぞれの器官について、他の動物との違い
5	猫の体の特徴	〃
6	猫の体の特徴	〃
7	猫の飼育管理	猫を飼う準備
8	子猫の迎え方	健康な子猫の選び方
9	繁殖	繁殖に適した猫の選び方 繁殖方法
10	繁殖	交配から妊娠、出産まで
11	ライフステージごとのケア	ワクチン摂取
12	ライフステージごとのケア	感染症
13	ライフステージごとのケア	かかりやすい病気
14	ライフステージごとのケア	老猫のケア
15	前期試験	筆記試験
16	猫の問題行動	猫独特の問題行動
17	キャットショー	キャットショーに出陳するために ショーの進行
18	猫の体型 毛色	体型の特徴や猫腫独特の毛色
19	猫腫の特徴	猫腫ごとの性格や飼育方法
20	猫腫の特徴	〃
21	猫腫の特徴	〃
22	猫腫の特徴	〃
23	猫腫の特徴	〃
24	猫腫の特徴	〃
25	猫腫の特徴	〃
26	猫腫の特徴	〃
27	猫腫の特徴	〃
28	猫腫の特徴	猫腫によってかかりやすい病気
29	猫腫の特徴	〃
30	後期試験	筆記試験

学習上の留意点と評価方法

前期試験、後期試験は筆記試験を行う。

試験結果、授業態度、結果日数などにより総合的に評価する

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットアドバイザー演習	専門科目	1	後期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬と生活するにあたり、犬の習性を理解したトレーニング方法を学び、実践的なトレーニング方法を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	しつけ・トレーニングとは	犬と会話する
2	犬具について	リードの使い方
3	ご褒美とは	ご褒美の選び方・使い方
4	ご褒美とは	ネームトレーニング ハンドターゲットトレーニング
5	基礎トレーニング①	お座り・伏せ・待て・警告「あ！」
6	基礎トレーニング②	ヒールウォーキング・お散歩の仕方
7	基礎トレーニング③	お散歩実践
8	基礎トレーニング④	「甘噛み」の対応・引っ張り遊び
9	基礎トレーニング⑤	犬との遊び方（鬼ごっこ・オイデ）・一人遊び
10	基礎トレーニング⑥	仰向け抱っこ・歯磨きトレーニング
11	基礎トレーニング⑦	子供と犬・ダブルハンドリング
12	基礎トレーニング⑧	多頭飼育について
13	基礎トレーニング⑨	ドッグダンス
14	基礎トレーニング⑩	ドッグダンス発表
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

レポート、筆記試験および授業態度などから総合的に判断する

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習	専門科目	1	通年	小西美恵・西堀有紀 中川菜	トリマー (3名)

講義の目的および概要

基本的なグルーミングの知識や技術を習得し、動物看護師として必要なグルーミング技術や接客技術を身に付ける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1 ～ 4	グルーミング実習の心得 道具類の確認	ブラッシングやシザーの持ち方の練習 道具類の確認と各自の目印を付ける
5 ～ 8	犬種省略記号について 道具類の使用法	犬種省略記号のグループワーク リボン製作、ブラッシングやシザーの持ち方の練習
9 ～ 12	グルーミング作業手順について SRの仕事内容について	犬種省略記号のテスト 電話対応のグループワーク
13 ～ 16	犬種学 2号館の使用法について	チャンパー犬種の用途や歴史を学ぶ GM実習室や犬舎室、ドッグランの使用法について
17 ～ 20	グルーミング概論 ウィッグのカット	チャンパーセットの手順について ウィッグを使用しカット練習
21 ～ 24	チャンパーセットのデモンスト レーション	デモンストレーションの見学
25 ～ 40	グルーミング実習 大型犬3～4人 中・小型犬2～4人	犬の扱い方、道具の正しい使い方、チャンパーセット の手順の理解
41 ～ 60	グルーミング実習 大型犬2～4人 中・小型犬1～3人	犬の扱い方、道具の正しい使い方、チャンパーセット の習得

※座学の進行具合によって授業内容が前後する場合があります。

学習上の留意点と評価方法

犬の扱い方、日頃の授業態度、欠課・遅刻日数、提出物などにより総合的に評価する。

教科書

参考文献

配布プリント

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習	ビジネス科目	1	前期	中井 澄子	—

講義の目的および概要

表計算ソフト Excel を利用して、PC でビジネス力を高めるための技法及び知識を習得する。

目標、全員が検定「Microsoft Office Specialist Excel2016」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	第1、2章 基礎知識、データ入力	Excel の概要と基礎知識、データ入力
2	第3章 表の作成	計算式の入力、移動、コピー、関数、罫線、表示形式
3	第4章 数式の入力	関数の入力方法、セルの参照
4	第4章 数式の入力	相対参照、絶対参照
5	第5章 複数シートの操作	作業グループの設定、シート間の集計、リンク貼り付け
6	第6章 表の印刷	印刷方法、ページレイアウト、ヘッダー・フッター、改頁プレビュー
7	第7章 グラフの作成	グラフの作成、グラフの構成、グラフの修正、
8	第8章 データベースの利用	データの並べ替え、フィルターを使った抽出、
9	第9章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	検定用 関数対策①	関数問題①
11	検定用 関数対策②	関数問題②
12	模擬問題第1回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習（最低2回）
14	〃	自習練習（最低2回）
15	前期試験	
16	模擬問題第2回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習（最低2回）
18	模擬問題第3回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習（最低2回）
20	模擬問題第4回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習（最低2回）
22	模擬問題第5回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習（最低2回）
24	模擬問題自習練習（最低2回）	模擬問題の反復練習。 模擬試験1～5回までが90点以上、30分で出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、後期の空き時間を利用して補講を行い再受験をする。
25	模擬問題自習練習（最低2回）	
26	模擬問題自習練習（最低2回）	
27	模擬問題自習練習（最低2回）	
28	模擬問題自習練習（最低2回）	
29	模擬問題自習練習（最低2回）	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。

評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

Microsoft Office Excel2016 基礎

出版:FOM 出版

Microsoft Office Specialist 問題集 Excel2016

出版:FOM 出版

参考文献

MOS Microsoft Office Specialist 攻略

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物繁殖学	基礎動物看護学	2	後期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬・猫の生殖器の構造および繁殖メカニズムについて学び、正しい繁殖について飼い主に指導が出来る知識を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	繁殖とは何か	繁殖時に考えるポイント
2	繁殖季節と発情周期	動物の性周期
3	犬と猫の生殖器	犬と猫の生殖器の特徴
4	犬の繁殖生理①	犬の性周期
5	犬の繁殖生理②	繁殖に関わるホルモン
6	犬の交配適期	交配適期、スメア検査
7	猫の繁殖生理	猫の性周期
8	交配様式と妊娠診断	犬猫の交尾様式、妊娠診断
9	妊娠中の管理	妊娠中の母体の健康管理
10	分娩と介助	分娩機序、帝王切開時のポイント、新生子介助の方法
11	遺伝性疾患①	遺伝性疾患について
12	遺伝性疾患②	〃
13	毛色について①	毛色遺伝子について
14	毛色について②	〃
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

動物看護コアテキスト2/ファームプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物病理学	基礎動物看護学	2	後期	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

動物病理学は、病気によって動物の体に起こった変化を調べることで、病気の原因や成り立ちや経過を知ろうとする学問である。病気の正しい診断や効果的な治療、看護の方針が立てられるだけでなく、病気の予防もできるようになることを目的とする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物病理学とは	動物病理学の目的、病理組織標本の作製方法について
2	生体反応と病気の成り立ち	病気の原因、バイタルサインについて
3	生体の回復力	恒常性の維持と疾病、身体の回復力について
4	細胞や組織に生じる変化	細胞傷害の過程、因子、細胞変化について
5	増殖と修復	細胞増殖と組織変化、化生、修復と治癒について
6	循環障害	血液とリンパ液の循環、充血とうっ血、出血と止血について
7	炎症	炎症の原因と役割、炎症の五大主徴、経過と治癒について
8	炎症	炎症に関わる細胞とケミカルメディエーター、炎症の分類について
9	免疫異常	免疫反応、抗体産生、抗体の移行について
10	免疫異常	アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全、移植について
11	腫瘍	細胞の増殖分化とその異常、腫瘍の定義と分類について
12	腫瘍	腫瘍の原因と発生メカニズム、転移と進行について
13	先天異常	先天異常の遺伝的要因と環境要因について
14	問題演習	五者択一問題による問題演習
15	後期試験	五者択一問題による試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
後期末に筆記試験による評価を行う

教科書

動物看護コアテキスト 3 動物の疾病と予防および回復／ファームプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物薬理学	基礎動物看護学	2	通年	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物看護師として必要な薬物に対する知識を身に付けることを目標とする。

動物の疾病の治療や診断に用いる薬物についての作用機序、臨床応用および副作用について学ぶ。

薬や消毒液の希釈など、現場で行うような簡単な計算もマスターすることを目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	薬理学概論	薬理学とは？
2	薬理学概論	薬理作用とは？薬物治療の概念
3	薬理学概論	薬物動態①
4	薬理学概論	薬物動態②
5	薬理学概論	薬物動態③
6	薬理学概論	薬物の血中濃度、作用曲線、LD ₅₀
7	薬理学概論	動物看護師による薬物の取り扱い
8	薬理学概論	投与量の計算
9	薬理学概論	薬物の剤形と各種投与法
10	薬理学概論	薬物に関する法規
11	薬理学概論	毒薬、劇薬、普通薬
12	薬理学概論	薬物耐性、依存性、副作用について
13	計算問題	薬物の投与量の計算や消毒薬の希釈計算など
14	計算問題	薬物の投与量の計算や消毒薬の希釈計算など
15	前期試験	
16	薬理学各論	神経系に作用する薬物
17	薬理学各論	呼吸器系に作用する薬物
18	薬理学各論	循環器系および泌尿器系に作用する薬物
19	薬理学各論	循環器系および泌尿器系に作用する薬物
20	薬理学各論	消化器系に作用する薬物
21	薬理学各論	オータコイド
22	薬理学各論	代謝・内分泌の薬物
23	薬理学各論	代謝・内分泌の薬物
24	薬理学各論	血液・免疫に作用する薬物
25	薬理学各論	血液・免疫に作用する薬物
26	薬理学各論	化学療法薬
27	薬理学各論	化学療法薬
28	薬理学各論	化学療法薬
29	計算問題	最後にもう一度計算問題についておさらいをする
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、出席率、小テスト、定期試験から総合的に評価する。

教科書

動物看護 コアテキスト 3 / ファームプレス

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 基礎動物看護学 2 / インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物感染症学Ⅱ	基礎動物看護学	2	前期	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

感染症の原因・経路・症状・予防および治療法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ウイルス性感染症	犬猫のウイルス性感染症について
2	ウイルス性感染症	その他の動物のウイルス性感染症について
3	細菌性感染症	犬猫の細菌性感染症について
4	細菌性感染症	その他の動物の細菌性感染症について
5	マイコプラズマ感染症	犬猫のマイコプラズマ感染症について
6	リケッチア感染症	犬猫のリケッチア感染症について
7	クラミジア感染症	犬猫のクラミジア感染症について
8	真菌性感染症	犬猫の真菌性感染症について
9	寄生虫性感染症	犬猫の原虫類感染症について
10	寄生虫性感染症	犬猫の吸虫類感染症について
11	寄生虫性感染症	犬猫の条虫類感染症について
12	寄生虫性感染症	犬猫の線虫類感染症について
13	寄生虫性感染症	犬猫の節足動物感染症について
14	問題演習	五者択一問題による問題演習
15	前期試験	五者択一問題による試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
前期末に筆記試験による評価を行う

教科書

動物看護コアテキスト 3 動物の疾病と予防および回復／ファームプレス
動物看護コアテキスト 6 動物看護の実践／ファームプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療関連法規	応用動物看護学	2	後期	井田 竜馬	行政書士

講義の目的および概要

認定動物看護師試験の範囲について学ぶと共に、動物看護師及び飼い主としても人や動物と向き合う上で必要な法律について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	自己紹介、授業概要紹介、法律の仕組み、狂犬病予防法（1）	後期授業の全体像の紹介と共に法律の仕組み、狂犬病予防法の概要について行う。
2	狂犬病予防法（2）	狂犬病予防法について（狂犬病予防法の仕組み）
3	狂犬病予防法（3）、感染症法	狂犬病予防法、感染症法（輸入禁止動物など）
4	獣医師法（1）	獣医師法について（獣医師の任務、診療業務の制限など）
5	獣医師法（2）	獣医師の義務（無診察診療の禁止、応召義務など）
6	獣医師法（3）	獣医師の義務、罰則など
7	獣医療法（1）	獣医療法について（広告制限など）
8	動物愛護法（1）	動物愛護法について（目的、基本原則、動物愛護週間など）
9	動物愛護法（2）	動物愛護法について（飼い主責任、周辺的生活環境の保全など）
10	動物愛護法（3）	動物愛護法について（犬猫の引取り、動物虐待に対する罰則など）
11	動物愛護法（4）	動物愛護法について（動物取扱業）
12	動物愛護法（5）	動物愛護法について（動物取扱業）
13	ワシントン条約、外来生物法など	野生動物に関する規定について行う
14	薬機法、家畜伝染病予防法、民法など	衛生分野などの規定について行う
15	後期試験	後期試験

学習上の留意点と評価方法

評価は筆記試験による
統一認定試験の範囲となる動物医療関連法規について学ぶ

教科書

独自のプリントなどによる

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
公衆衛生学	応用動物看護学	2	通年	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	公衆衛生とは	公衆衛生の内容と目的について
2	動物公衆衛生	人獣共通感染症対策、食品衛生、環境衛生について
3	感染経路	種々の感染経路について
4	人獣共通感染症（細菌）	犬猫の主な細菌性人獣共通感染症について
5	人獣共通感染症（細菌）	犬猫の主な細菌性人獣共通感染症について
6	人獣共通感染症（細菌）	犬猫の主な細菌性人獣共通感染症について
7	人獣共通感染症（真菌）	犬猫の主な真菌性人獣共通感染症について
8	人獣共通感染症（真菌）	犬猫の主な真菌性人獣共通感染症について
9	人獣共通感染症（ウイルス）	犬猫の主なウイルス性人獣共通感染症について
10	人獣共通感染症（ウイルス）	犬猫の主なウイルス性人獣共通感染症について
11	人獣共通感染症（寄生虫）	犬猫の主な寄生虫性人獣共通感染症について
12	人獣共通感染症（寄生虫）	犬猫の主な寄生虫性人獣共通感染症について
13	人獣共通感染症（寄生虫）	犬猫の主な寄生虫性人獣共通感染症について
14	問題演習	五者択一問題による問題演習
15	前期試験	五者択一問題による試験
16	滅菌法	種々の滅菌法とその特徴について
17	滅菌法	種々の滅菌法とその特徴について
18	消毒法	種々の消毒法とその特徴について
19	消毒法	種々の消毒法とその特徴について
20	感染症の制御	感染症成立の3要素について
21	院内感染の防止	院内感染を防止するための種々の方法について
22	予防ワクチン	犬の主な予防ワクチンについて
23	予防ワクチン	猫の主な予防ワクチンについて
24	動物検疫	動物由来感染症について
25	衛生行政と関連法規	感染症法について
26	衛生行政と関連法規	検疫法について
27	衛生行政と関連法規	狂犬病予防法について
28	衛生行政と関連法規	家畜伝染病予防法について
29	問題演習	五者択一問題による問題演習
30	後期試験	五者択一問題による試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
後期末に筆記試験による評価を行

教科書

動物看護コアテキスト 3 動物の疾病と予防および回復／ファームプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
人間動物関係学	応用動物看護学	2	前期	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	人と動物の関りの歴史	世界と日本の人と動物の関りの歴史
2	人と動物の関りの歴史	日本と西欧における動物との関りの比較
3	現代人と動物との関り	動物の飼育と利用状況について
4	現代人と動物との関り	人の生活に貢献する動物の役割
5	AAI AAA AAT AAE について	定義・歴史・それぞれの違い・効果に関して
6	AAI AAA AAT AAE について	効果的な実施方法
7	様々な人と動物の関係	高齢者と動物 子供と動物 に関して
8	様々な人と動物の関係	犯罪者と動物に関して
9	使役動物について	使役動物の歴史と福祉について
10	使役動物について	身体障害者補助犬・そのほかの使役犬について
11	ペットの飼育	人がペットを飼う理由について ペット飼育の歴史と現状
12	ペットの飼育	人とペットがともに幸せに暮らすために必要なこと
13	動物虐待	定義と背景 対応
14	動物虐待	現状と法規制・問題点に関して
15	ペット産業の現状	飼育頭数・ビジネスの分類・動物病院の実態・動物病院以外の経済動向・動物看護師の求人動向

学習上の留意点と評価方法

期末試験と授業中の積極性、提出物の総合評価

教科書

動物看護コアテキスト1 「人と動物の関係」 /ファームプレス

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
 応用動物看護学①「人間動物関係学」 /インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物行動学	応用動物看護学	2	前期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬や猫の行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	問題行動とは	正常行動・異常行動・問題行動 行動診療について
2	行動修正法①	行動修正法の種類と適用
3	行動修正法②	〃
4	犬の攻撃行動①	優位性攻撃
5	犬の攻撃行動②	同種間攻撃・遊び関連性攻撃・捕食性攻撃
6	犬の攻撃行動③	恐怖性攻撃・縄張り性攻撃・所有性攻撃
7	猫の攻撃行動	攻撃の分類と対応
8	恐怖行動・不安行動①	分離不安症
9	恐怖行動・不安行動②	音や雷恐怖症
10	排泄に関する行動	マーキングと不適切な排泄の鑑別と対応
11	常同障害	尾追い行動・舐性および自虐行動
12	吠え	吠えに対する行動修正
13	高齢性認知機能不全	高齢動物のケア
14	予備	
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

筆記試験および授業態度など総合的に判断する

教科書

動物看護コアテキスト4／ファームプレス

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 応用動物看護学3／インターズー
テリー先生の犬のしつけ方教室／JAHA
犬と猫の問題行動の予防と対応／緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
伴侶動物学Ⅱ	応用動物看護学	2	後期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

伴侶動物の歴史やエキゾチックアニマルの特徴について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	伴侶動物の定義	
3	自然観察	自然観察の目的と手法（桃山城公園）
4	家畜の歴史	家畜の歴史や原種
5	哺乳類の飼育管理 1	フクロモモンガ、ウサギ
6	自然観察	自然観察（宝ヶ池）
7	哺乳類の飼育管理 2	げっ歯類
8	京大博物館	京都大学総合博物館見学
9	哺乳類の飼育管理 3	ハリネズミ、フェレットなど
10	鳥類の飼育管理	主な飼い鳥、小鳥類の飼育法
11	爬虫類の飼育管理	爬虫類の特徴と飼育
12	両棲類の飼育管理	両棲類の特徴と飼育
13	動物園見学	京都市動物園見学
14	まとめ	
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

動物看護コアテキスト4／ファームプレス

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 応用動物看護学3／インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
産業動物・ 実験動物学	応用動物看護学	2	通年	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

様々な動物の特性と人との関りを理解する。

産業動物の歴史や品種、飼養管理法および畜産業界など社会とのかかわりについて見学や実習も交えて学ぶ。

実験動物の歴史や品種、飼養管理法および実験動物とのかかわりについて見学を交え学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	産業動物 1	家畜とはなにか？家畜の種類と特徴
2	産業動物 2	馬の歴史と品種・特徴について
3	産業動物 3	牛の歴史と品種・特徴について
4	産業動物 4	綿羊・山羊の歴史と品種・特徴について
5	産業動物 5	めえめえ牧場 見学・実習
6	産業動物 6	めえめえ牧場 見学・実習
7	産業動物 7	めえめえ牧場 見学・実習
8	産業動物 8	豚の歴史と品種・特徴について
9	産業動物 9	鶏の歴史と品種・特徴について
10	産業動物 10	各家畜の飼養管理法 1
11	実験動物 1	阪大医学部附属動物実験施設 見学
12	実験動物 2	阪大医学部附属動物実験施設 見学
13	実験動物 3	阪大医学部附属動物実験施設 見学
14	実験動物 4	阪大医学部附属動物実験施設 見学
15	前期試験	
16	実験動物 5	各家畜の飼養管理法 2
17	実験動物 6	各家畜の飼養管理法 3
18	実験動物 7	各家畜の飼養管理法 4
19	産業動物 11	畜産センター 見学・実習
20	産業動物 12	畜産センター 見学・実習
21	産業動物 13	畜産センター 見学・実習
22	産業動物 14	畜産センター 見学・実習
23	産業動物 15	各家畜の飼養管理法 5
24	産業動物 16	食肉センター 見学
25	産業動物 17	食肉センター 見学
26	産業動物 18	食肉センター 見学
27	産業動物 19	食肉センター 見学
28	産業動物 20	日本の畜産業界の実際
29	産業動物 21	まとめ
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、施設見学のレポート、筆記試験から総合的に判断して評価する

教科書

動物看護 コアテキスト 4/ファームプレス

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 応用動物看護学 3/インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
野生動物学	応用動物看護学	2	後期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

野生動物の現状を知り、人との関わりを学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介、アンケート
2	動物の分類	分類の基礎、階級、学名
3	自然観察	自然観察の目的と手法（桃山城公園）
4	野生動物の定義	野生動物と飼育動物の違い
5	野生動物の分布	世界及び日本の動物分布
6	自然観察	自然観察（宝ヶ池）
7	野生動物の生態	食性、法則
8	京大博物館	京都大学総合博物館見学
9	外来種	外来種問題
10	関連法規、条約	鳥獣保護法、種の保存法、CITES
11	野生動物の保全	現状と課題
12	展示動物	展示動物の定義、動物園の役割
13	動物園見学	京都市動物園見学
14	まとめ	
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 応用動物看護学3 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物外科看護学Ⅱ	臨床動物看護学	2	前期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物外科看護学Ⅰからの続きで外科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	手術の準備	
2	術中モニター	パルスオキシメーター、SpO ₂
3	術中モニター	カプノメーター、EtCO ₂
4	術中モニター	血圧、体温
5	術中モニター	心電図（ECG）
6	術中モニター	心電図（ECG）
7	術後管理	術後動物のバイタルチェック
8	術後管理	疼痛管理
9	術後管理	包帯法
10	救急救命	エマージェンシーの原因、病態
11	救急救命	救急疾患、ショックについて
12	救急救命	心肺蘇生（CPR）
13	救急救命	心肺蘇生（CPR）
14	理学療法	理学療法の意義と目的
15	まとめ	

学習上の留意点と評価方法

動物外科看護学実習と並行して行う。

試験は実習とまとめて行う。授業態度、レポート、小テスト、定期試験から総合して評価する。

教科書

as BOOKS もうコワくない！周術期の動物看護パーフェクトナビ／インターズー

動物看護師のための麻酔超入門／インターズー

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学Ⅰ／インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学・各論	臨床動物看護学	2	通年	松永 美絵	認定動物看護師

講義の目的および概要

様々な疾病の特徴を理解することにより、症状別に応じた対応や処置・動物看護をどのように行えばよいかを学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1-2	対処治療	症状に対する治療について（全身徴候）
3-4	神経疾患①	神経学的検査について 代表的疾患の看護
5-6	神経疾患② 整形外科疾患①	神経の代表的疾患の看護・骨格筋疾患の特徴と症状
7-8	整形外科疾患②	代表的疾患と看護・リハビリテーションの流れ
9-10	消化器・栄養代謝性疾患①	口腔内疾患・消化器系の疾患と看護
11-12	消化器・栄養代謝性疾患②	肝臓・胆嚢・胆管・膵臓・腹腔内疾患と看護
13-14	呼吸器疾患①	呼吸器系の各種検査方法・各疾患の特徴と看護
15-16	呼吸器疾患②	各疾患の特徴と看護
17-18	循環器疾患①	循環器系の各種検査方法・先天性疾患の特徴と看護
19-20	循環器疾患②	後天性疾患の特徴と看護
21-22	泌尿器疾患①	泌尿器系の各種検査方法・泌尿器系疾患の特徴
23-24	泌尿器疾患② 生殖器疾患①	泌尿器系疾患と看護 ・ 繁殖について
25-26	生殖器疾患②	雄、雌における生殖器系疾患・新生児疾患と看護
27-28	前期のまとめ	前期に学んだ各疾患の復習
29-30	前期のまとめ、前期試験	
31-32	皮膚疾患①	皮膚疾患の各種検査と看護補助
33-34	皮膚疾患②	皮膚疾患と看護・薬用シャンプー療法について
35-36	眼科疾患①	眼科疾患の各種検査・眼科疾患と看護
37-38	眼科疾患②	眼科疾患と看護・診療補助について
39-40	血液疾患①	血液疾患の各種検査・血液疾患と看護
41-42	血液疾患②（免疫）	免疫性疾患と看護
43-44	内分泌疾患①	内分泌系の各種検査・内分泌疾患と看護
45-46	内分泌疾患②	内分泌疾患と看護
47-48	感染症・寄生虫疾患	感染性疾患と寄生虫疾患の検査と看護
49-50	担がん動物の看護	担がん動物に対する看護と目標設定
51-52	若齢動物の疾患	身体検査と疾患に対する看護
53-54	高齢動物の疾患	身体変化と看護
55-56	緊急疾患	緊急時における看護師の対応
57-58	後期のまとめ	後期に学んだ各疾患の復習
59-60	後期のまとめ、後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、定期試験、授業内での確認テスト

他の教科との関連があるため、授業内で他の教科ノートや教科書（一年次に使用したものや現在使用中のものなど）が必要なことがある。

また、他の教科との調整等で授業内容の順序が変更する場合があります。

教科書

動物看護コアテキスト6／ファームプレス

参考文献

認定動物看護教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学3／インターズー
コンパニオンアニマルの疾患学入門／インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床検査学Ⅱ	臨床動物看護学	2	前期	高橋佳代子 榎原伸哉	認定動物看護師

講義の目的および概要

様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	真菌検査	被毛・ウッド灯検査、培養検査など
2	眼科検査	視覚試験、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査など
3	〃	STT、フルオレセイン染色試験、その他
4	X線検査	基本原理、撮影機材、被曝防護など
5	〃	撮影時の保定、ポジショニングなど
6	〃	現像、読影、造影検査、データ管理など
7	超音波検査	基本原理、検査準備、ポジショニングなど
8	その他の画像診断	CT、MRI、PET CT、内視鏡など
9	〃	〃
10	心電図検査	基本原理、検査準備
11	神経学的検査	意義、観察、記録、姿勢反応
12	〃	脳神経機能検査、知覚試験
13	細胞診・病理組織検査	意義、検体採取、処理方法
14	その他特殊検査	遺伝子検査、検査キット、外注検査
15	まとめ（試験）	

※他教科との調整により、授業内が前後する可能性があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、提出物、授業態度による

教科書

動物看護コアテキスト6 / ファームプレス
動物看護実習テキスト第2版 / インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物形態機能学実習Ⅱ	実習科目	2	前期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物機能形態学実習Ⅰからの続きで、主要臓器の組織像を観察し、臓器の働きについて理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	主な臓器④	組織標本を顕微鏡で観察してスケッチする
2	主な臓器⑤	同上
3	主な臓器⑥	同上
4	主な臓器⑦	同上
5	主な臓器⑧	同上
6	主な臓器⑨	同上
7	主な臓器⑩	同上
7.5	まとめ	

学習上の留意点と評価方法

2日間の集中講義で行う。

最終日にまとめのテストを行う。テストの点数と、提出したスケッチから評価する。

教科書

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 基礎動物看護学 1/インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物外科看護学実習	実習科目	2	通年	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

手術を行うために必要な滅菌や消毒、器具・機材の名称、準備から、周術期の術前、術中、術後の外科看護技術の習得および、麻酔モニター下での麻酔管理について学ぶ。また、異常な状態に陥ったときの対処法を理解する。後期の終わりに動物病院で手術実習を行い、外科手術における動物看護師の役割・重要性を理解し、臨床現場で役立てる人材に育てることを目的とする。

授業計画

回	主題	授業内容
1	手術までの一連の流れ	術前の準備、麻酔前投与薬、導入、維持、覚醒
2	洗浄・消毒・滅菌	洗浄・消毒・滅菌とは？その必要性について
3	器具・機材の準備	ガス滅菌の手順
4	器具・機材の準備	器具の名称と使用用途の復讐
5	器具・機材の準備	麻酔器の準備
6	器具・機材の準備	気管挿管、静脈確保の準備
7	術前評価	ASA 分類、血液検査、X-ray、エコー検査など
8	飼い主への説明	術前の説明など
9	輸液管理、血管確保	実際に輸液ラインの準備や模擬腕を用いて血管確保
10	麻酔とは？	麻酔の定義、注意点
11	麻酔の導入	麻酔前投与薬、酸素化、気管内挿管
12	麻酔モニター	ぬいぐるみを使ってモニター装着の練習を行う
13	麻酔薬、鎮痛薬	麻酔薬の種類、鎮痛薬の種類
14	吸入麻酔薬	吸入麻酔の種類と特徴
15	前期試験	
16	術者の準備	手洗い、ガウン着用、グローブ装着
17	外回りの役割	外回りの役割について
18	麻酔器の名称、構造	麻酔器の仕組み名称を理解する
19	麻酔器の名称、構造	麻酔器の構造を理解する
20	麻酔モニター	5感によるモニター
21	麻酔モニター	パルスオキシメーター
22	麻酔モニター	カプノメーター
23	麻酔モニター	ECG
24	麻酔モニター	血圧、体温
25	麻酔モニター	それぞれの項目の正常値と対処法
26	動物の準備	毛刈、術野の消毒
27	ここまでのまとめ	麻酔の導入、維持、モニター装着など

回	主題	授業内容
28	麻酔記録の付け方	麻酔記録をつける必要性について
29	麻酔記録の付け方	麻酔記録のつけかた
30	実習の予行演習	手術実習を想定した予行演習
31	手術実習	動物病院にて避妊手術
32	手術実習	動物病院にて避妊手術
33	手術実習	動物病院にて避妊手術
34	手術実習	動物病院にて避妊手術
35	覚醒・術創の保護	創傷管理
36	痛みの評価、疼痛管理	痛みの評価法、疼痛管理について
37	栄養管理、衛生管理	チューブフェーディング
38	疾患別の周術期管理	2人1組に分かれてまとめる。
39	疾患別の周術期管理	2人1組に分かれてまとめる。
40	疾患別の周術期管理	2人1組に分かれてまとめる。
41	疾患別の周術期管理	2人1組に分かれてまとめる。
42	疾患別の周術期管理	2人1組に分かれてまとめる。
43	発表	まとめたものを発表する
44	発表	まとめたものを発表する
45	発表	まとめたものを発表する

学習上の留意点と評価方法

後期は授業内評価とし、後期試験は行わない。

教科書

as BOOKS もうコワくない！周術期の動物看護パーフェクトナビ／インターズー

as BOOKS 動物看護師のための麻酔超入門／インターズー

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト 臨床動物看護学 1／インターズー

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学実習	実習科目	2	前期	高橋佳代子 檜原伸哉	認定動物看護師

講義の目的および概要

動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	創傷管理	創傷の種類、処置の準備・手順など
2	〃	被覆材、包帯法など
3	褥瘡管理	褥瘡の発生機序、症状など
4		看護の実際（体位変換等）
5	栄養管理	食事介助、強制給餌、食事の工夫
6	〃	チューブフィーディングについて
7	〃	チューブフィーディングの実際（流動食の準備など）
8	入院動物の管理	アセスメント、痛みの程度の評価など
9	入院施設の管理	ケージの清掃、管理、院内の環境整備（消毒方法など）
10	〃	ICU など特殊入院施設の管理
11	吸入療法	ネブライザー療法
12	モデル犬を用いた実習	適切なタイミングで行う
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	〃
17	〃	〃
18	動物看護過程	動物看護記録の方法など
19	動物看護過程の実際	事例演習（事例を挙げ、看護過程を展開してみる）
20	〃	例）呼吸器系疾患を持つ動物の看護過程
21	〃	循環器疾患を持つ動物の看護過程
22	〃	消化器系疾患を持つ動物の看護過程
23	〃	内分泌疾患を持つ動物の看護過程
24	〃	神経系・運動器系疾患を持つ動物の看護過程
25	〃	感覚器系疾患を持つ動物の看護過程
26	〃	繁殖機能障害を持つ動物の看護
27	〃	担がん動物の看護過程
28	〃	皮膚疾患を持つ動物の看護過程
29	〃	感染症の動物の看護過程
30	総まとめ（試験）	

学習上の留意点と評価方法

定期試験、提出物、授業内態度による

教科書

動物看護コアテキスト6／ファームプレス、動物看護実習テキスト第2版／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
認定動物看護師 の理解	専門科目	2	通年	阿部 令子	認定動物看護師

講義の目的および概要

主に統一試験対策として学習内容の確認・補足説明・過去問題集の実施と解説

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	1年を通じたの勉強方法に関して
2	主に1年次の学習の復習	苦手分野の洗い出し、補足・暗記
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	前期試験	
16	試験対策	2年前期の苦手分野の洗い出し、補足・暗記 過去問題集の練習・解説・暗記
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

期末試験及び授業内小テストの成績・積極性・提出物による総合評価

教科書

認定動物看護師コアカリキュラム 2019 準拠テキスト全巻／インターズー

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットファーストエイド	専門科目	2	前期	阿部令子 仁木恵美	認定動物看護師 獣医師

講義の目的および概要

動物の一次救命措置を知り、その予防と対応を学ぶ。また動物病院における処置を学習する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	一次救命措置について	インフォメーション、一次救命措置（ファーストエイド）とは、FAの原則・目的について、動物に咬まれた時の対応と病気
2	一次救命措置について	緊急時の動物の取り扱い、保定法、ボディランゲージについて、搬送方法、バイタルサイン
3	一次救命措置について	実際の処置について （外傷・中毒・火傷・熱中症・低体温症・凍傷、虫刺され、ヘビに咬まれた場合 など）
4	一次救命措置について	CPR 解説、CPR 実習、包帯法実習
5	二次救命措置について	二次救命措置の A～F について
6	二次救命措置について	創傷管理、中毒対応、熱中症対応、溺水、熱傷対応
7	二次救命措置について	循環器・呼吸器・内分泌・眼科の緊急疾患対応
7.5	試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・筆記試験・実技試験による総合評価

教科書

PETS AMERICA 認定 Pet First Aid テキスト
認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠テキスト
臨床動物看護学①「動物外科看護」／インターズー

参考文献

動物看護の教科書 増補改訂版 第6巻「救急救命対応」「総称の管理と包帯法」／緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネススキル I	ビジネス科目	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・ビジネスマナー実務検定 3 級の内容に沿って進め、社会人として身につけるべきビジネススキルの基本を学ぶ
- ・情報リテラシー力、読解力を高めて、変化する環境の中で常に成長していくためのベースをつくる

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ビジネススキルとは 適職診断
2	I 必要とされる資質	(1) ビジネスパーソンとしての資質 (2) 執務要件
3	II 企業実務	組織の機能
4	III 対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
5	III 対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
6	IV 技能 1	(1) 情報 (2) 文書
7	IV 技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
8	ビジネス常識 1	検定対策 1 過去問題分析
9	ビジネス常識 2	押さえておきたいキーワード
10	働く環境を分析する 1	ペットビジネスマーケットの特性 外部環境の情報収集・分析
11	働く環境を分析する 2	内部環境分析
12	就職活動に向けて	知っておきたい一般常識
13	職場管理	経営資源管理の基本 チームワーク、リーダーシップ
14	ペット業界の展望	業界の特性 業界の今後、ペットビジネスとマーケティング
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・演習、講義を組み合わせで行う
- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド 3 級』／早稲田教育出版
『ビジネス実務マナー検定 実問題集 3 級』／早稲田教育出版

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネススキルⅡ	ビジネス科目	2	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・就職に向けて、社会の仕組み、病院(企業)経営の仕組みを知る
- ・社会人、専門職に求められる一般常識やビジネススキルを見直し、演習を通じて、現場での応用力を高める
- ・受験希望する学生が「ビジネス実務マナー検定3級」に合格することを目指す

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	必要とされる資質	ビジネスパーソンとしての資質 執務要件
2	企業実務	組織のルール 組織の役割 組織の機能
3	対人関係	人間関係 マナー 話し方 交際
4	技能	情報 文書
5	技能	会議 事務機器 事務用品
6	検定対策	過去問題分析
7	社会の仕組み 1	政治・経済・法律・産業 トレンド
8	社会の仕組み 2	社会の動向 社会心理・社会病理
9	労務管理知識 1	労働基準法、安全管理、ハラスメント、 休暇、賃金 など
10	労務管理知識 2	求人票の内容を分析する 福利厚生、社会保険、給与など
11	マーケティング 1	外部環境分析、内部環境分析 SWOT 分析
12	マーケティング 2	マーケティング志向の問題解決
13	改善と 5S	問題発見から課題設定、解決へ 5S の実践
14	改善の実際	衛生管理、文書作成、会議運営、接遇、 職場コミュニケーションなど
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』／早稲田教育出版

『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』／早稲田教育出版

参考文献

必要に応じてレジュメ・資料を配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コミュニケーション技法・基礎	ビジネス科目	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・コミュニケーションの基本を確認する
- ・ビジネスコミュニケーションを実践的に学ぶ
- ・ビジネスマナー実務検定の内容をふまえて進める(春・秋の受験に合わせる)

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	コミュニケーションスタイル分析
2	必要とされる資質(人間力)	ビジネスパーソンの資質とは 執務に必要な人間力、読解力、共感力
3	組織における コミュニケーション	組織の機能 組織を活性化するコミュニケーション
4	対人関係 1	職場の人間関係づくりと維持 マナー
5	対人関係 2	言葉遣い、話し方、敬語 ケーススタディ「職場の人間関係」
6	技能 1	情報共有 文書、メール
7	技能 2	会議、朝礼の参加・運営 郵便、販促ツール
8	ビジネスコミュニケーション1	バーバルとノンバーバル インプットとアウトプット
9	ビジネスコミュニケーション2	言葉遣い、ビジネス用語 接遇用語
10	ビジネスコミュニケーション3	敬語
11	職場内のコミュニケーション	ほうれんそう 雑談力
12	接遇マナー 1	対人心理学 対話力、積極的傾聴(聴く)、伝える
13	接遇マナー 2	クレーム対応
14	ケーススタディ	実践的な場面でのコミュニケーションのポイント
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・社会人としての基礎をつくる場としての授業におけるコミュニケーション、行動を評価のベースとする

教科書

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』／早稲田教育出版
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』／早稲田教育出版

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コミュニケーション技法・応用	ビジネス科目	2	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・職場の人間関係を良好にし、顧客満足を実現するためのコミュニケーションの基本を見直し、応用力を身につける
- ・社会人として、コンパニオンアニマルにかかわるプロとして、求められるマナーやコミュニケーションを「ビジネス実務マナー検定3級」をふまえて体得する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ビジネスパーソンとしての資質	ヒューマンスキルとコミュニケーション
2	対人関係	人間関係をよくする話し方 交際、冠婚葬祭
3	技能	情報リテラシー 文書作成
4	コミュニケーションスキルの自己分析	対人心理学 パーソナルスペース、コミュニケーションタイプ
5	ビジネスコミュニケーション1	職場内 ほうれんそう
6	ビジネスコミュニケーション2	電話応対
7	ビジネスコミュニケーション3	ケース別接遇 CSコミュニケーション
8	ビジネスコミュニケーション4	クレーム対応
9	アサーティブ コミュニケーション	さわやかな自己表現 自己開示のポイント
10	コーチング コミュニケーション	カウンセリングマインド、傾聴 質問力
11	ファシリテーション	ミーティングの進行 人を巻き込む
12	リーダーシップと コミュニケーション	プラスのストローク、モチベーション 率先垂範
13	異文化コミュニケーション	インバウンドとコミュニケーション、英会話 日本のコミュニケーションの特性
14	ダイバーシティ時代の コミュニケーション	ダイバーシティ&インクルージョン 共感のコミュニケーション
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、プレゼンテーション、出席率を中心に、筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』／早稲田教育出版
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』／早稲田教育出版

参考文献

レジュメを配布